

# 2017 年度 研究所事業報告書

研究所名	アート・リサーチセンター
研究所長名	細井 浩一

## I. 研究成果の概要

本欄には、研究所・センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究所総合計画(5 ヵ年)および 2017 年度重点プロジェクト申請調書に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこなうことができるだけわかりやすく記述してください。

アート・リサーチセンター(以下、ARC)は、今後の活動の柱として、以下に述べる 3 プロジェクトを選定し、2017 年度も引き続き、集中的に取り組んだ。この 3 プロジェクトは、重点化する研究分野やプロジェクトとして研究所総合計画(5 ヵ年)に挙げたものに該当し、それぞれが学際的・有機的に連携し、本センターの研究活動を発展させつつ国際化を推進した。また、ARC は、GCOE プログラム(2007-2011 年度)の研究蓄積や体制を基盤とした文学研究科「文化情報学専修」における若手教育の実践、文部科学省共同利用共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」の運営(平成 29 年度中間評価において S 評価獲得)、平成 27 年度採択の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「日本文化資源のグローバルアクション」(2015-2019 年度)の推進などにより、本学の教育研究拠点機能を充実・発展させた。

### プロジェクト No.1: 文化資源デジタルアーカイブの国際貢献と持続可能化方策確立

当年度は、以下 5 点を推進した。①研究体制と問題解決ラインの迅速化:「テクニカルサポートボード」による月に一度の定期ミーティング開催と同時に、問題や課題が発生した時点で随時ミーティングを開催。②具体的課題の解決(A,導入した赤外線デジタルカメラの活用、B,タッチパネルディスプレイを用いた画像処理の高度化技術開発、C,文化財 3D デジタル・アーカイブ生産ラインにおける撮影手法の開発、D,多焦点合成画像作成、D,高速なデジタルテキスト・アーカイブ手法の実装)③DBシステムの更新・開発:全 DB の 95%の PHP 化を実現。DB システム自体の整理を行い、様々なニーズに即した DB テンプレートを用意。マルチメディアコンテンツとの連携可能なマルチメディア DB 連携システムの構築。マルチメディア DB は、3D ファイルにも対応するため、これまでの 3D データベースの開発を止め、マルチメディア DB に統合した。④技術ワークショップとマニュアルの開発:外部への普及活動や見学・ヒアリング対応のガイドラインについては、拠点システム機能を説明するスライドの蓄積により、容易に対応可能となった。デジタル化手法の教育と普及、開発提供しているシステムなどを紹介する技術ワークショップを、ARC の研究会において複数回実施。⑤ARC に所蔵・寄託されている文化財・美術品:修復の必要なものが多く、本予算を重点的に配分して修復とデジタル・アーカイブ化に努めている。

### プロジェクト No.2: 有形・無形文化財のデジタルドキュメンテーションと利活用のための先端技術の開発

当年度は、以下 7 点を推進した。①祇園祭「八幡山」に対し、懸装品装着状態で 3 次元レーザ計測を行い、昨年度の計測データと組み合わせた八幡山内部構造の高精細立体透視画像の作成。三条通 3 次元計測データと大船鉾 CAD データを用いた、戦前の三条通山鉾巡行ルートの再現シミュレーション、町並みと大船鉾の衝突の可能性に関するビジュアル解析。②祇園祭「粽投げ」を仮想空間内で体験出来る VR コンテンツの完成。船鉾の内部構造を視認できる VR コンテンツの作成。AR を用いた洛中洛外図屏風の解説システムを NTT と共同開発し、上杉本洛中洛外図屏風の陶版を対象に実施。平安京復元模型をベースにバーチャル平安京の 3D モデルを作成。③祇園囃子を録音した昭和時代のレコードからデジタル音響データを取得し、現在の祇園囃子との比較実験を実施し、昭和初期と現代の音色の差を明らかにした。④ARC 所蔵浮世絵および古典籍データを対象に、異言語間のメタデータ類似度に基づく新たな手法を開発。⑤浮世絵の情報推薦システムにおいて、画像の反転を行う前処理の導入による性能の大幅な向上を明らかにした。NTT と共同で、高岡市美術館・堺市博物館が所蔵する洛中洛外図屏風のマルチバンド、赤外線画像の撮影とその Web 閲覧システムの開発。洛中洛外図屏風を江戸初期の古地図や現在の地図と比較する Web システムを構築。⑥舞踊や芸能の身体動作データを DB として公開する基本システムの改善。⑦長江家所蔵資料のデジタルアーカイブを実施し、「京町家のデジタル・ミュージアム」計画を立ち上げた。長江家住宅北棟の改修工事に立ち合い、復原の記録を実施。

### プロジェクト No.3: デジタル・アーカイブによる価値創造と社会的応用

当年度は、以下 3 点を推進した。①実展示として実施した「ゲーム展 TEN」を素材として、仮想空間の機能を踏まえて再構築したトライアル空間を 3D メタバース Second Life を利用した ARC バーチャルミュージアムにおいて新規建築。②京都市東山区五条坂京焼登り窯・井野祝峰窯、奈良市赤膚山元窯の発掘調査・測量調査・民具調査の成果報告書を刊行。友禅図案のデジタル・アーカイブ作業および工房関係者や製造事業者等への聞き取り調査を継続的に実施。③企業と共同開発した視覚障害者等の利用者に対する電子書籍貸出サービスの普及(40 自治体、129 館)。多言語対応電子書籍による多文化サービスを浜松市立図書館において「楽天 OverDrive」の電子図書館システムによる実証実験を開始。公共図書館におけるディスカバリーサービスについては、11 館の図書館で実証実験を開始、2018 年 4 月から長崎市立図書館での実用化が決定。日本体育大学柏高等学校において電子図書館システム「LibrariE」導入に関する調査を実施。

## II. 拠点構成員の一覧

本欄には、2018年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員協力研究員等の構成員を全て記載してください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③学振特別研究員(PD・RPD)、④博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上に在籍する院生

役割	氏名	所属	職位	
研究所長・センター長	細井 浩一	映像学部	教授	
運営委員	赤間 亮	文学部	教授	
	木立 雅朗	文学部	教授	
	田中 覚	情報理工学部	教授	
	田中 弘美	情報理工学部	特命教授	
	前田 亮	情報理工学部	教授	
	矢野 桂司	文学部	教授	
	湯浅 俊彦	文学部	教授	
	THAWONMAS Ruck	情報理工学部	教授	
	西林 孝浩	文学部	教授	
	八村 広三郎	情報理工学部	特任教授	
	鈴木 桂子	衣笠総合研究機構	特別招聘研究教員(教授)	
	金子 貴昭	衣笠総合研究機構	特別招聘研究教員(准教授)	
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	稲葉 光行	政策科学部	教授	
	小椋 秀樹	文学部	教授	
	川越 恭二	情報理工学部	教授	
	島川 博光	情報理工学部	教授	
	田中 聡	文学部	教授	
	中谷 友樹	文学部	教授	
	三須 祐介	文学部	准教授	
	西浦 敬信	情報理工学部	教授	
	矢野 健一	文学部	教授	
	斉藤 進也	映像学部	准教授	
	古川 耕平	映像学部	准教授	
	中村 彰憲	映像学部	教授	
	河角 直美	文学部	准教授	
	吉田 満梨	経営学部	准教授	
	長谷川 恭子	情報理工学部	助教	
	原田 智広	情報理工学部	助教	
	李 亮	情報理工学部	講師	
	学内の若手研究者	① 専門研究員・研究員	福田 一史	衣笠総合研究機構
李 増先			衣笠総合研究機構	専門研究員
BATJARGAL Biligsaikhan			総合科学技術研究機構	専門研究員
山路 正憲			衣笠総合研究機構	研究員
② リサーチアシスタント		佐藤 弘隆	衣笠総合研究機構	リサーチアシスタント
		常木 佳奈	衣笠総合研究機構	リサーチアシスタント

③ 大学院生	王 晟	情報理工学研究科	D5
	川内 有子	文学研究科	D4
	TOTHILL Vanessa	文学研究科	D4
	若林 佑幸	情報理工学研究科	D3
	大塩 祥剛	情報理工学研究科	D2
	SONG Yuting	情報理工学研究科	D2
	SHIN Juhyung	先端総合学術研究科(博士課程)	4 回生
	岡本 直也	情報理工学研究科	M2
	池田 翔武	情報理工学研究科	M2
	王 嘉韻	情報理工学研究科	M2
	中尾 由香里	文学研究科	M2
	永井 彩子	文学研究科	M2
	森 和貴	情報理工学研究科	M2
	NGUYEN Tung Duc	情報理工学研究科	M2
	WEI Zhenao	情報理工学研究科	M2
	野木 ももこ	文学研究科	M2
	毛利 仁美	文学研究科	M1
	向井 淳子	文学研究科	M1
	GUO Hao	文学研究科	M1
	LU Shiqi	文学研究科	M1
	李 瑞佳	文学研究科	M1
	李 威特	情報理工学研究科	M1
	中村 航希	情報理工学研究科	M1
	④ 日本学術振興会特別 研究員(PD・RPD)		
その他の学内者 (補助研究員、非常勤講師、研究 生、研修生等)	竹内 千代子	文学部	非常勤講師
	倉橋 正恵	文学部	非常勤講師
	青山 いずみ	文学研究科	研修生
客員協力研究員	石上 阿希	衣笠総合研究機構	客員研究員
	Xu Ting	衣笠総合研究機構	客員研究員
	鹿内 菜穂	衣笠総合研究機構	客員研究員
	脇田 航	衣笠総合研究機構	客員研究員
	大矢 敦子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	木村 文則	衣笠総合研究機構	客員研究員
	佐古 愛己	衣笠総合研究機構	客員研究員
	高須 奈都子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	谷 昇	衣笠総合研究機構	客員研究員
	山本 真紗子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	河原 大	衣笠総合研究機構	客員研究員
	瀬戸 寿一	衣笠総合研究機構	客員研究員

## 客員協力研究員

高橋 幸恵	衣笠総合研究機構	客員研究員
塚本 章宏	衣笠総合研究機構	客員研究員
土田 勝	衣笠総合研究機構	客員研究員
松岡 恵悟	衣笠総合研究機構	客員研究員
磯田 弦	衣笠総合研究機構	客員研究員
本多 健一	衣笠総合研究機構	客員研究員
飯塚 隆藤	衣笠総合研究機構	客員研究員
岩切 友里子	衣笠総合研究機構	客員研究員
大西 秀紀	衣笠総合研究機構	客員研究員
岡本 隆明	衣笠総合研究機構	客員研究員
亀田 和子	衣笠総合研究機構	客員研究員
松本 節子	衣笠総合研究機構	客員研究員
CLARK Timothy Thorburn	衣笠総合研究機構	客員研究員
MARCEAU Lawrence Edward	衣笠総合研究機構	客員研究員
PELLECCHIA Diego	衣笠総合研究機構	客員研究員
TINIOS Ellis	衣笠総合研究機構	客員研究員
富田 美香	衣笠総合研究機構	客員研究員
中村 恵美	衣笠総合研究機構	客員研究員
矢野 明子	衣笠総合研究機構	客員研究員
前崎 信也	衣笠総合研究機構	客員研究員
松葉 涼子	衣笠総合研究機構	客員研究員
BINCSEK Monika	衣笠総合研究機構	客員研究員
HAFT Alfred	衣笠総合研究機構	客員研究員
HONCOPOVA, Helena	衣笠総合研究機構	客員研究員
細井 尚子	衣笠総合研究機構	客員研究員
山口 欧志	衣笠総合研究機構	客員研究員
林子竝(LIN, Yu-Pin)	衣笠総合研究機構	客員研究員
井上 学	衣笠総合研究機構	客員研究員
丸川 雄三	衣笠総合研究機構	客員研究員
RESIG John	衣笠総合研究機構	客員研究員
MIKES Marek	衣笠総合研究機構	客員研究員
HUBER Brigitte	衣笠総合研究機構	客員研究員
PRESTHOLDT Jeremy	衣笠総合研究機構	客員研究員
加茂 瑞穂	衣笠総合研究機構	客員研究員
彬子女王	衣笠総合研究機構	客員研究員
金田 章裕	衣笠総合研究機構	客員研究員

客員協力研究員	PHILLIPS Quitman Eugene	衣笠総合研究機構	客員研究員
	VESCO Silvia	衣笠総合研究機構	客員研究員
	YOO Jennifer	衣笠総合研究機構	客員研究員
	JESZENSZKY Peter	衣笠総合研究機構	客員研究員
	相田 愛子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	相田 敏明	衣笠総合研究機構	客員研究員
	林 禊映	衣笠総合研究機構	客員研究員
	八反裕太郎	衣笠総合研究機構	客員研究員
	原田 真澄	衣笠総合研究機構	客員研究員
	片 龍雨	衣笠総合研究機構	客員研究員
	柳 政勲	衣笠総合研究機構	客員研究員
	井川 繭子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	上田 文	衣笠総合研究機構	客員研究員
	武藤 祥子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	村島 彩加	衣笠総合研究機構	客員研究員
植村 要	衣笠総合研究機構	客員研究員	
井上 明人	衣笠総合研究機構	客員研究員	
その他の学外者	田中 士郎		研究員
研究所・センター構成員 計 128 名 (うち学内の若手研究者 計 29 名)			

### Ⅲ. 研究業績

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2018年3月31日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	竹内千代子	芭蕉堂門人録—影印と翻刻—	単著	2018年3月	昭英社・私家版	竹内千代子校訂	pp.1-75 (全頁)
2	中村 恵美	『八代目市川團十郎画像資料集』Ⅱ	単著	2017年9月	私家版		
3	田中 覚	社会シミュレーション—世界を『見える化』する	共著	2017年9月	東京電機大学出版局	遠藤 薫, 寺野 隆雄, 佐藤 彰洋, 栗原 聡, 倉橋 節也, 田中 覚	pp.81-94
4	田中 覚	月刊『測量』別冊「地形表現とその周辺」(担当記事: 3次元計測データのための正しい奥行き感を持った透視可視化)	共著	2018年1月	公益社団法人 日本測量協会	田中覚	pp.53-54
5	常木 佳奈	「船鉾のすがた・かたち」	共著	2018年1月	公益社団法人船鉾保存会, 佐藤弘隆・矢野桂司(編) 『船鉾 財団法人設立五十周年記念誌』	佐藤弘隆	pp.25-46

6	西林 孝浩	【共同編集および巻頭解説】「(特集) アジアにおける技術・芸術と社会のダイナミクス」	共著	2017年10月	『立命館言語文化研究』29巻2号	「アジアにおける技術・芸術と社会のダイナミクス」研究会	pp.133-164 (pp.133-134 を研究会代表者として単独執筆)
7	川嶋 将生	清水寺 成就院日記第3巻	共同校訂	2017年12月	法蔵館	下坂守ほか9名	pp.3-379
8	倉橋 正恵	歌舞伎評判記集成 第三期 第一巻	共著	2018年2月	和泉書院	役者評判記刊行会	pp.77-123, 460-461
9	倉橋 正恵	未翻刻戯曲集 24 花笠嗟 峨猫魔稿	共著	2018年3月	日本芸術文化振興会	国立劇場調査養成部	pp. 31-64
10	加茂 瑞穂	纏う図案—近代京都と染織 図案 I 展図録	共著	2017年9月		岡達也	pp.1-24
11	前田 亮	Japanese-Chinese Cross-Language Entity Linking Adapting to User's Language Ability	共著	2018年2月	In Sio-Long Ao, Haeng Kon Kim, Oscar Castillo, Alan Hoi-Shou Chan, and Hideki Katagiri, editors, Transactions on Engineering Technologies, chapter 28, Springer Singapore	Fuminori Kimura, Jialiang Zhou, and Akira Maeda	pp.383-397
12	木立 雅朗	京式登り窯の民俗考古学的研究II	共著	2018年3月	立命館大学文学部	松山侑揮・二橋慶太郎	pp.1-68、写真図版1-12
13	湯浅 俊彦	大学生が考えたこれからの出版と図書館—立命館大学文学部湯浅ゼミの軌跡△△の現状・課題・将来	編著	2017年4月	出版メディアパル		pp.2-3,8-22,204-218
14	湯浅 俊彦	読書の自由と図書館—石塚栄二先生卒寿記念論集	共著	2017年9月	日本図書館研究会		pp.208-212
15	矢野 健一	杉沢遺跡 2017年度発掘調査概報	共著	2018年3月	立命館大学文学部学芸員課程研究報告第22冊	矢野健一・鈴木大輔ほか	全16頁

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	ペレッキア ディエゴ	Noh Creativity? The role of amateurs in Japanese Noh theatre	単著	2017年	Contemporary Theatre Review		pp.34-45	有
2	Tothill Vanessa	Yosan-re and the Aesthetics of Post-Tenpo Reforms Era Sericulture Prints	単著	2018年3月	立命館大学アート・リサーチ18号	Tothill Vanessa	pp.63-87	有
3	川内 有子	ミットフォードの“The Forty-seven ROinins”の四十七士論としての新しさとイギリスにおける同時代的反響	単著	2017年7月	日本比較文化学会, 比較文化研究, 127号		pp.13-21	有

4	川内 有子	F.V.Dickins 訳『仮名手本忠臣蔵』の成立と 1880 年版の改訂 - <i>Japan Weekly Mail</i> 誌上の論争を踏まえて-	単著	2018 年 3 月	立命館大学アート・リサーチ 18 号		pp.15-24	有
5	竹内 千代子	松岡青蘿の伝書『俳諧点之格』考	単著	2017 年 10 月	大阪俳文学研究会会報「俳文学報」51 号	竹内千代子	pp.32-40	有
6	田中 覚	Effects of Depth Cues on the Recognition of the Spatial Position of a 3D Object in Transparent Stereoscopic Visualization	共著	2017 年 6 月	Smart Innovation, Systems and Technologies (Proc. KES-InMed-17, Vilamoura, Portugal, June 21-23, 2017), ISBN 978-3-319-59397-5(71 巻)	Yurina Kitaura, Kyoko Hasegawa, Yuichi Sakano, Roberto Lopez-Gulliver, Liang Li, Hiroshi Ando, Satoshi Tanaka	pp.277-282	
7	田中 覚	Highlighting Feature Regions Combined with See-Through Visualization of Laser-Scanned Cultural Heritage	共著	2017 年 9 月	Proc. 2017 International Conference on Culture and Computing, Sep. 10, 2017	Naoya Okamoto, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Atsushi Okamoto, Satoshi Tanaka	pp.7-12	
8	田中 覚	Improving Transparent Visualization of Large-Scale Laser-Scanned Point Clouds by using Poisson Disk Sampling	共著	2017 年 9 月	Proc. 2017 International Conference on Culture and Computing, Sep. 10, 2017	Shu Yanai, Ryohei Umegaki, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Hiroshi Yamaguchi, Satoshi Tanaka	pp.13-19	
9	田中 覚	Collision Visualization of a Laser-Scanned Point Cloud of Streets and a Festival Float Model used for the Revival of a Traditional Procession Route	共著	2017 年 9 月	The International Archives of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences (Proc. ISPRS Geospatial Week 2017, 18-22 September 2017, Wuhan, China)(XLII 巻 2/W7 号)	Weite Li, Kenya Shigeta, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Keiji Yano, Satoshi Tanaka	pp.255-261	
10	福田 一史	ゲーム所蔵館連携の可能性と意義	共著	2018 年 3 月	日本デジタルゲーム学会 第 8 会年次大会予稿集	井上明人, 細井浩一	pp. 92-95	無
11	福田 一史	ビデオゲーム目録作成のためのメタデータモデルの設計 - 書誌的関連に着目して -	共著	2018 年 3 月	日本デジタルゲーム学会 第 8 会年次大会予稿集	三原鉄也	pp. 88-91	無

12	福田 一史	Endeavors of Digital Game Preservation in Japan - A Case of Ritsumeikan Game Archive Project	共著	2017年11月	iPRES 2017	中村彰憲, 細井浩一, 井上明人, 高橋志行, & 上村雅之		無
13	福田 一史	Research on Ontology of Package for Game Software	共著	2017年8月	Replaying Japan 2017	井上明人, 細井浩一	pp.29-30	無
14	福田 一史	How Was Local Game History Made?	共著	2017年8月	Replaying Japan 2017	井上明人	pp.27-28	無
15	本多 健一	歴史地理 近世以前 (2016年学界展望)	単著	2017年10月	人文地理学会, 人文地理, 第69巻第3号	(なし)	pp.363-368	無
16	Lawrence E. Marceau	(書評) Reading "The Tale of Genji": Sources from the First Millennium. Edited by Thomas Harper and Haruo Shirane.	単著	2017年7月	Monumenta Nipponica 第72巻第1号		pp.424-426	有
17	井上 学	中部地方の県境山村における県際バス路線の運営枠組み—三重県名張市周辺と長野県栄村周辺の事例—	共著	2017年7月	地理科学学会, 季刊地理学, 69巻2号	田中健作	pp.91-103	有
18	井上 学	昭和初期における乗合バス事業の路線網の復原と地域特性—岐阜県を事例として—	共著	2017年12月	人文科学とコンピュータ研究会, 人文科学とコンピュータシンポジウム論文集, Vol.2017 No2	田中健作	pp.111-118	有
19	井上 学	デジタルアーカイブ写真のGIS化とその活用—「京都の鉄道・バス写真データベース」の構築—	共著	2017年12月	人文科学とコンピュータ研究会, 人文科学とコンピュータシンポジウム論文集, Vol.2017 No2	山本峻平・佐藤弘隆・高橋彰・河角直美・井上学・矢野桂司	pp.199-206	有
20	井上 学	日本における乗合タクシー事業の地域特性	共著	2018年3月	立命館大学人文学会, 立命館文学, 656号		pp.173-187	無
21	河角 直美	二つの『京都市明細図』の概要とそのGISデータベースの構築—京都府立総合資料館所蔵本と長谷川家住宅所蔵本—	共著	2017年7月	日本地理学会, 地理学評論, 90巻4号	河角直美・矢野桂司・山本俊平	pp.376-379	有
22	河角 直美	記憶地図から読む地域の景観の歴史—仁和寺門前地域を例に—	共著	2017年5月	日本造園学会, ランドスケープ研究, 81巻1号	河角直美・板谷直子・中谷友樹・佐藤弘隆・谷崎友紀・前田一馬	pp.22-25	無
23	河角 直美	デジタルアーカイブ写真のGIS化とその活用—「京都の鉄道・バス写真データベース」の構築—	共著	2017年12月	人文科学とコンピュータシンポジウム論文集, Vol.2017, 2号	山本峻平・佐藤弘隆・高橋彰・河角直美・井上学・矢野桂司	pp.199-206	無



24	河角 直美	近代京都における市街地の 拡大と近郊農村の景観変化	単著	2018年3月	立命館大学環太平洋文明 研究センター、環太平洋 文明研究、2号		pp.79-86	無
25	亀田 和子	Copying and Theory in Edo Period Japan (1615- 1868)	単著	2018年2月	London: Bloomsbury Publishing, <i>Japanese Art: Critical and Primary Sources, Vol. 2: Visual Cultures Part II</i>	Morgan Pitelka 編	<a href="https://www.bloomsbury.com/uk/japanese-art-9781350024502/">https://www.bloomsbury.com/uk/japanese-art-9781350024502/</a>	有
26	金子 貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第三回 (昭和十九年二月六日から 二月二十六日)	共著	2017年4月	京鹿子(1112号)	小林孔、金子貴昭、高 井悠子、竹内千代子、 松本節子、吉田星子、 高木晶子(解説・校 訂)	pp.14-23	
27	金子 貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第四回 (昭和十九年二月二十七日 から三月七日)	共著	2017年5月	京鹿子(1113号)	小林孔、金子貴昭、高 井悠子、竹内千代子、 松本節子、吉田星子、 高木晶子(解説・校 訂)	pp.18-22	
28	金子 貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第五回 (昭和十九年三月八日から 四月二日)	共著	2017年6月	京鹿子(1114号)	小林孔、金子貴昭、高 井悠子、竹内千代子、 松本節子、吉田星子、 高木晶子(解説・校 訂)	pp.15-26	
29	金子 貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第六回 (昭和十九年四月二(三)日 から四月九日)	共著	2017年7月	京鹿子(1115号)	小林孔、金子貴昭、高 井悠子、竹内千代子、 松本節子、吉田星子、 高木晶子(解説・校 訂)	pp.13-17	
30	金子 貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第七回 (昭和十九年四月十日から 四月二十六日)	共著	2017年8月	京鹿子(1117号)	小林孔、金子貴昭、高 井悠子、竹内千代子、 松本節子、吉田星子、 高木晶子(解説・校 訂)	pp.21-30	
31	金子 貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第八回 (昭和十九年四月二十七日 から五月十四日)	共著	2017年9月	京鹿子(1118号)	小林孔、金子貴昭、高 井悠子、竹内千代子、 松本節子、吉田星子、 高木晶子(解説・校 訂)	pp.20-28	
32	金子 貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第九回 (昭和十九年五月十五日か ら五月二十九日)	共著	2017年11月	京鹿子(1119号)	小林孔、金子貴昭、高 井悠子、竹内千代子、 松本節子、吉田星子、 高木晶子(解説・校 訂)	pp.14-23	

33	金子 貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第十回 (昭和十九年五月三十日から六月十八日)	共著	2017年12月	京鹿子(1120号)	小林孔、金子貴昭、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子(解説・校訂)	pp.14-23	
34	金子 貴昭	The Printing Blocks of Woodblock-printed Books(Freer Gallery of Art and Arthur M. Sackler Gallery Smithsonian Institution)	単著	2018年1月	The World of the Japanese Illustrated Book	Takaaki kaneko	<a href="https://pulverer.si.edu/node/1217">https://pulverer.si.edu/node/1217</a>	
35	金子 貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第十一回(昭和十九年六月十九日から七月九日)	共著	2018年2月	京鹿子(1122号)	小林孔、金子貴昭、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子(解説・校訂)	pp.14-24	
36	金子 貴昭	野風呂『續俳諧日誌』第十二回(昭和十九年七月十日から八月六日)	共著	2018年3月	京鹿子(1123号)	小林孔、金子貴昭、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子(解説・校訂)	pp.13-26	
37	斎藤 進也	「コミッチケーション」によるソーシャルログの視覚化と共有ー「トイレ型UI」の設計と実装を通じてー	共著	2018年3月	立命館大学アート・リサーチセンター、アート・リサーチ, 18号	中島理紗	pp.103-113	有
38	石上 阿希	「イギリス人宣教師の手紙」	共著	2018年3月	「日文研」60号		pp.45-47	無
39	川嶋 將生	伏見稲荷大社と応仁・文明の乱ー明応の再興と稲荷信仰の弘がりを含めてー(1)	単著	2017年10月	伏見稲荷大社「大伊奈利」216号		pp.2-5	無
40	川嶋 將生	伏見稲荷大社と応仁・文明の乱ー明応の再興と稲荷信仰の弘がりを含めてー(2)	単著	2018年1月	伏見稲荷大社「大伊奈利」217号		pp.3-9	無
41	川嶋 將生	清水寺と雨乞いの返礼踊り	単著	2018年2月	音羽山清水寺「清水」211号		pp.64-74	無
42	川嶋 將生	東寺領散所「松法師」	単著	2018年3月	世界人権問題研究センター『中近世の被差別民像ー非人・河原者・散所ー』		pp.9-29	無
43	川嶋 將生	河原者の結縁史料ー新発見の像内納入文書の紹介ー	単著	2018年3月	世界人権問題研究センター「研究紀要」22号			有

44	長谷川 恭子	Collision Visualization of a Laser-Scanned Point Cloud of Streets and a Festival Float Model used for the Revival of a Traditional Procession Route	共著	2017年9月	The International Archives of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences, Volume XLII-2/W7	Weite Li, Kenya Shigeta, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Keiji Yano, Satoshi Tanaka	pp.255-261	有
45	李 増先	Japan Printed Books in East Asia: the Lockhart Collection in the Cambridge University Library.	単著	2017年7月	Asia Studies Conference Japan 2017 Annual Meeting	Zengxian Li	pp.8	有
46	李 亮	The stochastic highlighting of polygon edges in the transparent visualisation of large-scale polygon meshes: application to visualising a high-energy elementary particle detector	共著	2017年7月	Journal of Statistical Computation and Simulation, vol. 87, no. 13	Ryoji Sanagawa, Kyoko Hasegawa, Liang Li, and Satoshi Tanaka	pp.2560-2571	有
47	李 亮	Character segmentation and transcription system for historical Japanese books with a self-proliferating character image database	共著	2017年12月	International Journal on Document Analysis and Recognition (IJ DAR), vol. 20, Iss. 4	C. Panichkriangkrai, L. Li, T. Kaneko, R. Akama, and K. Hachimura	pp.241-257	有
48	高須 奈都子	近代の「きもの」図案にみる鳳凰模様の展開 -立命館大学アート・リサーチセンターの資料を中心に-	単著	2018年3月	立命館大学アート・リサーチセンター紀要 アート・リサーチ Vol.18		pp.25-38	有
49	BATJARGAL Biligsaikhan	Recognition and Transliteration of Proper Nouns in Cross-Language Record Linkage by Constructing Transliterated Word Pairs	共著	2017年12月	International Journal of Asian Language Processing, Vol. 27, No. 2	Yuting Song, Biligsaikhan Batjargal, and Akira Maeda	pp.111-125	有
50	THAWONM AS Ruck	Feature Extraction of Gameplays for Similarity Calculation in Gameplay Recommendation	共著	2017年11月	Proc. of 2017 IEEE 10th International Workshop on Computational Intelligence and Applications (IEEE IWCI A2017)	Kazuki Mori, Suguru Ito, Tomohiro Harada, and Kyung-Joong Kim	pp.171-176	有
51	THAWONM AS Ruck	Segmentation Mask Refinement Using Image Transformations	共著	2017年11月	IEEE Access, 5,	Tung Nguyen, Ayumu Shinya, Tomohiro Harada,	pp.26409-26418	有

52	THAWONM AS Ruck	Towards Adaptive Motion Gaming AI with Player's Behavior Modeling for Health Promotion	共著	2017年10月	Proc. of the 6th IEEE Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2017)	Takahiro Kusano,Pujana Paliyawan,Tomohiro Harada	pp.270-271	有
53	THAWONM AS Ruck	Intelligent Assistant for Providing Instructions and Recommending Motions During Fullbody Motion Gaming	共著	2017年10月	Proc. of the 6th IEEE Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2017)	Jorge Arturo Moran Bravo, Pujana Paliyawan, Tomohiro Harada	pp.342-343	有
54	THAWONM AS Ruck	Procedural Generation of Angry Birds Fun Levels using Pattern-Struct and Preset-Model	共著	2017年9月	2017 IEEE Conference on Computational Intelligence and Games (CIG 2017)	Yuxuan Jiang,Tomohiro Harada,	pp.270-271	有
55	THAWONM AS Ruck	Deep Features for Image Classification and Image Similarity Perception	共著	2017年9月	Proc. of Japanese Association for Digital Humanities Conference 2017 (JADH2017)	Zhenao Wei, Lilang Xiong, Kazuki Mori, Tung Duc Nguyen, Tomohiro Harada, Keiko Suzuki, and Masaaki Kidachi	pp.60-62	有
56	THAWONM AS Ruck	Towards implementation of Persona and Play Arc in a Fighting game	共著	2017年8月	Proc. of Replaying Japan 2017	Suguru Ito, MakotoIshihara, TomohiroHarada,	pp.106-108	有
57	THAWONM AS Ruck	Procedural Play Generation According to Play Arcs Using Monte-Carlo Tree Search	共著	2017年8月	Proc. of the 18th International Conference on Intelligent Games and Simulation (GAMEON' 2017)	Suguru Ito, MakotoIshihara, MarcoTamassia, Tomohiro Harada, Ruck Thawonmas, and Fabio Zambetta	pp.67-71	有
58	THAWONM AS Ruck	Integrating Surrogate Evaluation Model and Asynchronous Evolution in Multi-Objective Evolutionary Algorithm for Expensive and Different Evaluation Time	共著	2017年7月	ACM Workshop on Parallel and Distributed Evolutionary Inspired Method (PDEIM) in Genetic and Evolutionary Computation Conference 2017 (GECCO2017)	Misaki Kaidan, Tomohiro Harada	pp.1833-1840	有
59	THAWONM AS Ruck	Analysis of Relationship Between the Player's Behavior Change and the Effectiveness of a Health Promotion AI	共著	2017年6月	Proc. of 2017 NICOGRAPH International	Takahiro Kusano, Pujana Paliyawan,Tomohiro Harada	pp.92	有

60	THAWONM AS Ruck	Object-Specific Style Transfer Based on Feature Map Selection Using CNN	共著	2017年6月	Proc. of 2017 NICOGRAPH International	Ayumu Shinya, Nguyen Duc Tung, Tomohiro Harada	pp.88	有
61	THAWONM AS Ruck	Automatic Generation of Game Plays Considering the Play Arc by the AI in a Fighting Game	共著	2017年6月	Proc. of 2017 NICOGRAPH International	Suguru Ito, Makoto Ishihara, Tomohiro Harada	pp.87	有
62	THAWONM AS Ruck	Feature Extraction of Game Plays for Procedural Play Generation	共著	2017年6月	Proc. of 2017 NICOGRAPH International	Kazuki Mori, Ayumu Shinya, Tomohiro Harada	pp.86	有
63	THAWONM AS Ruck	Health Promotion AI for Full-body Motion Gaming	共著	2017年3月	2017 AAAI Spring Symposium Series (Well-Being AI: From Machine Learning to Subjective Oriented Computing)	Pujana Paliyawan, Takahiro Kusano, Yuto Nakagawa, Tomohiro Harada	pp.720- 725	有
64	加茂 瑞穂	友禅協会応募図案にみる明治後期の染色意匠―第 26 回から 37 回を中心に―	単著	2018年3月	アート・リサーチ 18号		pp.3-13	有
65	山本 真紗子	山本真紗子「美学者中井宗太郎の渡欧体験（1922～23）―京都市立芸術大学芸術資料館所蔵中井宗太郎資料を中心に―」	単著	2017年7月	『人文学報』（京都大学人文科学研究所）110		pp.71-92	有
66	山本 真紗子	前崎信也・山本真紗子「Google Arts & Culture「Made in Japan：日本の匠」における京都女子大学と立命館大学の取り組みについて」	共著	2018年2月	『京都女子大学生生活造形』63、	前崎信也	pp.75-78	無
67	山本 真紗子	山本真紗子「神戸「シルク・ロード」の今を訪ねて」	単著	2018年3月	『民族芸術』34		pp.188- 189	無
68	鹿内 菜穂	人文科学とコンピュータ分野発展への課題：「人材育成」「キャリアパス」「社会貢献」「記録メディア」	単著	2017年5月	情報処理学会，情報処理学会研究報告．人文科学とコンピュータ研究会報告，2017-CH-114 (12)	鹿内菜穂	pp.1-3	無
69	鹿内 菜穂	Analysis of Interpersonal Effects in Dance Performance	共著	2017年9月	IEEE, 2017 International Conference on Culture and Computing	Nao Shikanai & Kozaburo Hachimura	pp.67-68	無
70	鹿内 菜穂	Effects of the Presence of an Audience on Dance Movements: A trial analysis of male and	単著	2017年10月	Institute of Control, Robotics and Systems, ICCAS 2017 Proceedings	Nao Shikanai	pp.1-4	無

		female dancers						
71	前田 亮	An Entity Disambiguation Approach Based on Wikipedia for Entity Linking in Microblogs	共著	2017年7月	Proceedings of the 6th International Congress on Advanced Applied Informatics (IIAI AAI 2017)	Tomoaki Urata and Akira Maeda	5 pages	有
72	前田 亮	Linking the Same Ukiyo-e Prints in Different Languages by Exploiting Word Semantic Relationships across Languages	共著	2017年8月	Conference Abstracts of Digital Humanities 2017	Yuting Song, Taisuke Kimura, Biligsaikhan Batjargal, and Akira Maeda	pp.603-605	有
73	前田 亮	Creating a Digital Edition of Mongolian Historical Documents	共著	2017年9月	Proceedings of the International Conference on Culture and Computing (Culture and Computing 2017)	Biligsaikhan Batjargal, Garmaabazar Khaltarkhuu, and Akira Maeda	pp.151-152	有
74	前田 亮	Recognition and Transliteration of Proper Nouns in Cross-Language Record Linkage by Constructing Transliterated Word Pairs	共著	2017年	International Journal of Asian Language Processing(27卷2号)	Yuting Song, Biligsaikhan Batjargal, and Akira Maeda	pp.111-125	有
75	前田 亮	An Entity Disambiguation Approach Based on Wikipedia and Word Embeddings for Entity Linking in Microblogs	共著	2018年3月	Proceedings of the International MultiConference of Engineers and Computer Scientists 2018 (IMECS2018)	Tomoaki Urata and Akira Maeda	pp.380-386	有
76	大西 秀紀	二世豊竹古靱太夫(山城少掾)の「撰州合邦辻」	単著	2018年3月	京都造形芸術大学舞台芸術研究センター、舞台芸術, 21号	浅田彰・天野文雄・森山直人・八角聡仁・渡邊守章	pp.109-110	無
77	島川 博光	Stimulating Interests in Traditional Culture Using Guide Avatar Narrating Story in VR Space	共著	2018年1月	Advances in Computing, Vol.8, No.1	Keisuke Katsura, Fumiko harada, Hiromitsu Simakawa	pp.1-9	有
78	島川 博光	Prediction of Crossing Driveways of a Distracted Pedestrian from Walking Characteristics	共著	2018年1月	International Journal of Internet of Things, Vol.7, No.1	Hiroki Kitamura, Fumiko Harada, Yusuke Kajiwara, and Hiromitsu Shimakawa	pp.1-9	有

79	八村 広三郎	Character segmentation and transcription system for historical Japanese books with a self-proliferating character image database	共著	2017年12月	International Journal on Document Analysis and Recognition (ISSN:4133-2833) Vol.20	Chulapong Panichkrinangkrai, Liang Li, Takaaki Kaneko, Ryo Akama	pp.241-257	有
80	飯塚 隆藤	三遠南信地域の歴史 GIS データベースに向けて	単著	2017年4月	和田明美編『道と越境の歴史文化』青簡舎		pp.90-94	無
81	飯塚 隆藤	淀川流域における近代河川舟運の変化に関する検討：歴史 GIS データベースを用いて	単著	2017年11月	名古屋地理学会、名古屋地理、第30号		pp.13-16	無
82	木立 雅朗	回転運動を利用した成形-ロクロと回転運動-	単著	2017年10月	モノと技術の古代史 陶芸編		pp.245-270	無
83	木立 雅朗	京都の伝統工芸と戦争 その八 戦跡考古学の今後の課題は	共著	2017年7月	調査情報、537	岩城浩一	pp.40-45	無
84	木立 雅朗	海を越える窯業-須恵器から明治まで、近年の京都における民俗考古学的検討から-	単著	2017年5月	石川県埋蔵文化財情報、37		pp.29-31	無
85	木立 雅朗	京都の伝統工芸と戦争 その七 伝統工芸の現在-戦争をくぐり抜けてきた京都とその未来-	単著	2017年5月	調査情報、536		pp.36-41	無
86	矢野 桂司	二つの『京都市明細図』の概要とその GIS データベースの構築——京都府立総合資料館所蔵本と長谷川家住宅所蔵本——	共著	2017年7月	地理学評論(90巻4号)	河角直美・矢野桂司・山本峻平	pp.390-400	
87	矢野 桂司	ハーバード大学の地理学と GIS の盛衰と展開	単著	2017年7月	理論地理学ノート(19巻)	矢野桂司	pp.55-70	
88	矢野 桂司	Collision Visualization of a Laser-Scanned Point Cloud of Streets and a Festival Float Model used for the Revival of a Traditional Procession Route,	共著	2017年9月	The International Archives of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences(XLII-2/W7巻)	Weite Li, Kenya Shigeta, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Keiji Yano and Satoshi Tanaka		
89	矢野 桂司	日本版 Map Warper の構築と活用	共著	2017年10月	地理情報システム学会講演論文集(27巻)	矢野桂司・鎌田遼	pp.1-4	
90	矢野 桂司	すまいの耐震化の普及・支援のためのジオデモグラフィクスの活用	共著	2017年10月	地理情報システム学会講演論文集(27巻)	上杉昌也・矢野桂司	pp.1-4	

91	矢野 桂司	クラウドソーシングを活用した写真資料(古写真)の地理情報等の同定方法の検討とその課題ー京都市電のデジタルアーカイブ写真を事例としてー	共著	2017年10月	地理情報システム学会講演論文集(27巻)	高橋彰・河角直美・矢野桂司・山路正憲・山本俊平・佐藤弘隆・今村聡	pp.1-4	
92	矢野 桂司	京都地籍図を用いた大正期における地価の時空間分析	共著	2017年10月	地理情報システム学会講演論文集(27巻)	青木和人・矢野桂司・中谷友樹		
93	矢野 桂司	デジタルアーカイブ写真のGIS化とその活用ー「京都の鉄道・バス写真データベース」の構築ー	共著	2017年12月	人文科学とコンピュータシンポジウム論文集(情報処理学会シンポジウムシリーズ(2017巻24号))	山本峻平・佐藤弘隆・高橋彰・河角直美・井上学・矢野桂司	pp.31-36	
94	矢野 桂司	個人の交通行動と近隣環境に関するジオデモグラフィクス分析	共著	2017年	GIS:理論と応用(25巻1号)	上杉昌也・矢野桂司	pp.11-22	
95	矢野 桂司	ジオデモグラフィクスによる社会地区類型を活用した窃盗犯の発生要因に関する小地域分析	共著	2018年1月	E-journal GEO(13巻1号)	上杉昌也・樋野公宏・矢野桂司		
96	矢野 桂司	すまいの耐震化の普及・啓発におけるジオデモグラフィクスの活用:京都市を事例として	共著	2018年3月	京都歴史災害研究(39-50号)	上杉昌也・矢野桂司	pp.39-50	
97	鈴木 桂子	Deep Features for Image Classification and Image Similarity Perception	共著	2017年9月	Proceedings of JADH Conference(2017巻)	Zhenao Wei, Lilang Xiong, Kazuki Mori, Tung Duc Nguyen, Tomohiro Harada, Ruck Thawonmas, Keiko Suzuki, Masaaki Kidachi	pp.60-62	有
98	鈴木 桂子	染色デザインの世界的連環の研究ー「アフリカン・プリント」、型紙を中心に	単著	2017年12月	第8回横幹連合コンファレンス	鈴木桂子		無
99	脇田 航	A High Immersive Telexistence System of the Moving Object with Full Circumference Image and Inertial Force Presentation	共著	2018年1月	Electrical Engineering in Japan, Vol.203, No.2	Tatsuya Hayakawa, Daijiro Yoshimura, Mitsuyuki Saito, Yasuhide Kobayashi, and Wataru Wakita	pp.29-38	有
100	脇田 航	全周映像および慣性力呈示による移動体の高度没入型テレグジスタンスシステム	共著	2017年9月	電気学会論文誌 C, Vol.137, No.9	早川達也, 吉村大二郎, 齊藤充行, 小林康秀, 脇田 航	pp.1192-1200	有



101	西浦 敬信	Surround Sensation Index Based on Differential S-IACF for Listener Envelopment with Multiple Sound Sources	共著	Oct. 2017	Journal of Communication and Computer, Vol. 14, DOI: 10.17265/1548-7709/2017.03.003	Masato Nakayama, Kota Nakahashi, Yukoh Wakabayashi and Takanobu Nishiura,	pp.122-128	有
102	赤間 亮	在外日本美術品のデジタル画像共有化をめぐる絵本に注目して	単著	2017年5月	美術フォーラム21(35号)	赤間 亮	pp.82-89	
103	赤間 亮	R・Keyes,P.Morse 編「北斎版画作品カタログレゾネ」Web公開システムとシステム環境	単著	2017年10月	アート・ドキュメンテーション学会秋季研究集會予稿集(10号)	赤間 亮	pp.24-25	
104	赤間 亮	劇場の外の「風流」から歌舞伎を考える	単著	2017年12月	論究日本文学(107号)	赤間 亮	pp.17-25	
105	細井 浩一	ゲーム所蔵館連携の可能性と意義	共著	2018年3月	『日本デジタルゲーム学会2017年次大会予稿集』	井上明人・福田一史・細井浩一	pp.92-95	

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	ペレッキア ディエゴ	研究と教育のための伝統芸能資料サイト JPARC : その活用の可能性	2017年2月 20日	東アジア演劇研究におけるデジタル・ヒューマニティーズの可能性」立命館大学	
2	ペレッキア ディエゴ	A comparative look at amateur practices in noh and contemporary theatre	2017年9月1 日	EAJS Conference. Universidade Nova de Lisbon	モニカ ベーテ
3	ペレッキア ディエゴ	Losing yourself along the way: the ethics of noh training in the intercultural context	2017年12月 10日	AJJ Conference. Doshisha university	
4	岩切 友里子	【招待】「武者絵における画題図像の要素」	2017年12月	絵入り本ワークショップX、実践女子大学	
5	川内 有子	ミットフォードの“The Forty-seven Ronins”執筆の手法とイギリスにおける同時代的反響の考察	2017年6月	第41回 ARCセミナー,立命館大学、京都市	
6	川内 有子	Translating Wordplays in Japanese Early Modern Texts: Comparative Study of Two English Translations of Act. VII of <i>Kanadehon Chushingura</i>	2017年9月	IAPONICA BRUNENSIA 2017, マサリク大学, チェコ・ブルノ市	
7	川内 有子	ジョン・メイスフィールドの <i>The Faithful</i> が忠臣蔵の受容に与えた影響	2017年12月	日本比較文化学会関西西部会, 同志社大学, 京都市	
8	川内 有子	パーミンガム図書館蔵初演資料を用いたジョン・メイスフィールド作 “The Faithful” の再検討	2018年2月	日本英学史学会月例研究会, 拓殖大学, 東京都文京区	

9	田中 覚	Visualization and Virtual Reality of 3D Objects	2017年6月	RENKEI 日英産学連携プログラム、デジタル文化財ビジネスとオープンデータ：ローマから日本へ、June 24-28, 2017, 立命館大学 ( <a href="http://www.ritsumei.ac.jp/file.jsp?id=344673">http://www.ritsumei.ac.jp/file.jsp?id=344673</a> ).	田中 覚
10	田中 覚	祇園祭・八幡山における三次元計測の記録活動について	2017年7月	文化財保存修復学会第39回大会	岡本 篤志, 田中 覚, 長谷川 恭子, 佐々木 公一, 松田 重雄
11	田中 覚	Depth Recognition in 3D Translucent Stereoscopic Imaging of Medical Volumes by means of a Glasses-Free 3D Display	2017年7月	4th International Conference on Computational Science/ Intelligence & Applied Informatics (CSII 2017)	Yurina Kitaura, Kyoko Hasegawa, Yuichi Sakano, Roberto Lopez-Gulliver, Liang Li, Hiroshi Ando, Satoshi Tanaka
12	田中 覚	Planarity を応用した文化財レーザ計測点群の透視可視化における特徴領域強調	2017年7月	可視化情報学会 第45回可視化情報シンポジウム, 工学院大学, July 18-19, 2017.	永田 広樹, 長谷川 恭子, 田中 覚
13	田中 覚	ゲームエンジンのLOD機能を活用した3次元レーザ計測ポイントデータの高速表示	2017年7月	可視化情報学会 第45回可視化情報シンポジウム, 工学院大学, July 18-19, 2017.	中村 航希, 長谷川 恭子, 田中 覚
14	田中 覚	Precise See-through Imaging of 3D Laser-scanned Cultural Heritages	2017年8月	Proc. 17th Asia Simulation Conference 2017, Melaka, Malaysia, Aug. 27-29 (Aug.28), 2017 (Keynote)	Satoshi Tanaka
15	田中 覚	High-quality Visualization of a Laser-scanned Point Cloud based on Poisson Disk Sampling and Curvature-dependent Sorting	2017年10月	The 36th JSST Annual Conference International Conference on Simulation Technology (JSST 2017), October 25-27, Tokyo Denki University, Tokyo, Japan.	Yukihiro Noda, Shu Yanai, Liang Li, Kyoko Hasegawa, Satoshi Tanaka
16	田中 覚	Improving Rendering Quality of Stochastic Point-Based Volume Rendering based on Poisson Disk Sampling	2017年10月	The 36th JSST Annual Conference International Conference on Simulation Technology (JSST 2017), October 25-27, Tokyo Denki University, Tokyo, Japan.	Masato Nakai, Liang Li, Kyoko Hasegawa, Satoshi Tanaka
17	田中 覚	裸眼立体視による半透明可視化の奥行き知覚	2017年12月	第8回横幹連合コンファレンス, 立命館大学, Dec 2-3, 2017	長谷川恭子, 北浦優理奈, 中島由衣, 坂野雄一, 安藤広志, Lopez-Gulliver Roberto, 田中覚
18	田中 覚	陰関数曲面補間を利用した高曲率領域抽出による3次元点群の凹凸強調可視化	2017年12月	第8回横幹連合コンファレンス, 立命館大学, Dec 2-3, 2017	渡邊達彦, 田中覚, 長谷川恭子, 李亮
19	田中 覚	実測ビッグデータを活用した、アジア歴史文化遺産のデジタルミュージアム研究開発	2017年12月	第8回横幹連合コンファレンス, 立命館大学, Dec 2-3, 2017	田中覚
20	田中 覚	シミュレーション技術を応用した3次元文化財の透視可視化	2017年12月	第8回横幹連合コンファレンス, 立命館大学, Dec 2-3, 2017	田中覚

21	田中 覚	ISPRS Laser Scanning 2017 報告	2017年12月	精密工学会 大規模環境の3次元計測と認識・モデル化技術専門委員会 第30回定例研究会	田中覚
22	田中 覚	3次元計測点群の高品質化による有形文化財の高品質可視化	2018年2月	第7回 知識・芸術・文化情報学研究会	野田幸裕, 梁井脩, 田中覚, 長谷川恭子, 李亮
23	田中 覚	3次元計測点群における点密度調整を用いた有形文化財の特徴領域強調	2018年3月	第1回ビジュアリゼーションワークショップ	永田広樹, 長谷川恭子, 李亮, 田中覚
24	田中 覚	適応的削減を用いた確率的ポイントレンダリングによる高精細ポリゴンメッシュの半透明可視化	2018年3月	第1回ビジュアリゼーションワークショップ	下村哲裕, 長谷川恭子, 李亮, 田中覚
25	田中 覚	Digital Archiving of 3D Cultural Heritages in Japan and Indonesia	2018年3月	the 9th International Conference on Global Resource Conservation (ICGRC) & AJI from Ritsumeikan University, Ijen Suites Hotel Resort & Convention, Malang, March 7-8, 2018.	Satoshi Tanaka, Liang Li, Kyoko Hasegawa
26	田中 覚	Virtual Yamahoko Parade: A Virtual Tour of a Traditional Japanese Festival	2018年3月	the 9th International Conference on Global Resource Conservation (ICGRC) & AJI from Ritsumeikan University, Ijen Suites Hotel Resort & Convention, Malang, March 7-8, 2018.	Liang Li, Kozaburo Hachimura, Satoshi Tanaka
27	福田 一史	【招待】ビデオゲームの目録とメタデータモデリング	2018年3月	情報組織化研究グループ、大阪学院大学、吹田市	
28	福田 一史	ゲーム所蔵館連携の可能性と意義	2018年3月	日本デジタルゲーム学会第8回年次大会、福岡工業大学、福岡市	井上明人、細井浩一
29	福田 一史	ビデオゲーム目録作成のためのメタデータモデルの設計 -書誌的関連に着目して-	2018年3月	日本デジタルゲーム学会第8回年次大会、福岡工業大学、福岡市	三原鉄也
30	福田 一史	ゲーム目録作成における論点 -RDAの採用を通じて-	2017年11月	ARC セミナー、立命館大学アート・リサーチセンター、京都市	
31	福田 一史	【招待】 Endeavors of Digital Game Preservation in Japan - A Case of Ritsumeikan Game Archive Project	2017年11月	iPRES 2017, 京都大学	中村彰憲, 細井浩一, 井上明人, 高橋志行, & 上村雅之
32	福田 一史	【招待】ゲームデータベースのデザイン	2017年9月	文化庁メディア芸術祭 シンポジウム「メディア芸術のためのアーカイブ」、NTT インターコミュニケーションセンター、東京都	
33	福田 一史	ビデオゲーム目録作成のためのメタデータモデルの設計 -書誌的関連に着目して-	2017年9月	Data-based approaches to local and global video game culture - oppotunities, challenges, future directions-, ライプツィヒ大学、ドイツ	
34	福田 一史	【招待】ゲーム保存と目録 -立命館大学における活動を通じて-	2017年9月	アート・ドキュメンテーション学会 関西地区部会 2017年度第1回研究会、立命館大学ARC、京都市	
35	福田 一史	Research on Ontology of Package for Game Software	2017年8月	Repalying Japan 2017, The Strong Museum of Play, NYC	井上明人, 細井浩一

36	福田 一史	How was Local Game History Made?	2017年8月	Repalying Japan 2017, The Strong Museum of Play, NYC	井上明人
37	福田 一史	Designing LOD for digital game	2017年6月	RENKEI Workshop, 立命館大学アートル・リサーチセンター、京都市	
38	Lawrence E. Marceau	Aesop Illustrated: Image and text in three early-modern Japanese translations of the <i>Fables</i>	2017年12月15日	At the Roots of Visual Japan: Word-text dynamics in early modern Japan, 英国ケンブリッジ大学国際学会	
39	井上 学	「バス旅ひょうご」キャンペーンにおける販売プロモーションとモデルルート提案による観光利用者の特性	2017年7月	日本モビリティ・マネジメント学会 第12回大会、アクロス福岡、福岡市	前田昌宏・水田節男
40	井上 学	外国人利用者に向けた公共交通の案内情報の共通化を目指した取り組み	2017年7月	日本モビリティ・マネジメント学会 第12回大会、アクロス福岡、福岡市	児玉健・児玉宜治・長坂英登・田中彬弘・東徹・後藤正明・辻堂史子
41	井上 学	昭和初期における乗合バス事業の路線網の復原と地域特性—岐阜県を事例として—	2017年12月	じんもんこん 2017 人文科学とコンピュータシンポジウム、大阪市立大学、大阪市	田中健作
42	井上 学	デジタルアーカイブ写真の GIS 化とその活用—「京都の鉄道・バス写真データベース」の構築—	2017年12月	じんもんこん 2017 人文科学とコンピュータシンポジウム、大阪市立大学、大阪市	山本峻平・佐藤弘隆・高橋彰・河角直美・井上学・矢野桂司
43	岡本 隆明	資料所蔵機関・研究機関、お互いを補うには—京都府立京都学・歴史館の仕事—	2018年2月	第7回知識・芸術・文化情報学研究会、立命館大阪梅田キャンパス多目的室	
44	岡本 隆明	京都学・歴史館 地図・絵図資料の現状	2018年3月	2017 年度 国際ワークショップ 日本の古地図ポータルサイト、立命館大学衣笠キャンパス 平井嘉一郎記念図書館 カンファレンスルーム	
45	河角 直美	クラウドソーシングを活用した写真資料（古写真）の地理情報等の同定方法の検討とその課題—京都市電のデジタルアーカイブ写真を事例として—	2017年10月	地理情報システム学会、第26回地理情報システム学会研究発表大会、宮城大学	高橋彰・山本峻平・佐藤弘隆・高橋彰・河角直美・井上学・矢野桂司
46	河角 直美	デジタルアーカイブ写真の GIS 化とその活用—「京都の鉄道・バス写真データベース」の構築—	2017年12月	じんもんこん 2017 人文科学とコンピュータシンポジウム	山本峻平・佐藤弘隆・高橋彰・河角直美・井上学・矢野桂司
47	河角 直美	古写真データベースのまちあるきへの活用	2018年3月	日本地理学会、2018年春季学術大会、東京学芸大学	山本峻平・高橋彰・佐藤弘隆・河角直美・矢野桂司・井上学・北本朝展
48	亀田 和子	【招待】 Post-Otaku Sensation at the End of the Heisei Era: A Study of Your Name. (2016)	2017年6月	The Heisei Era in Retrospect: Major Trends in Post-Industrial and Post-Consumer Japan, University of Haifa	
49	亀田 和子	【招待】 Research Methods in Japanese pre-modern Art: Investigating the Shagan Collection at the Hebrew University	2017年5月	Hebrew University of Jerusalem	

50	亀田 和子	【招待】 Reading the Edo and Meiji Texts with an emphasis on the Shagan Book Collection: On the Road through Western Countries: Comic Journey towards Civilization	2017年6月	Hebrew University of Jerusalem	
51	亀田 和子	Japanese Cultural Studies in Hawaii and Israel	2017年7月	International Conference on Japanese Cultural Studies outside of Japan, SISJAC, University of East Anglia	
52	金子 貴昭	浮世絵の板木とその研究活用	2017年10月	8次原州世界古版画文化祭国際学術大会	金子 貴昭
53	金子 貴昭	Status of Japanese Woodblocks: The Process of Pre-digitalization and Conservation	2017年11月	International Symposium "Preservation of Woodblocks in Asia Sharing Experience"	Takaaki Kaneko
54	金子 貴昭	テキストアノテーションシステムによる歴史資料(文獻)の有機的活用—江戸期出版記録を事例として	2017年11月	アート・ドキュメンテーション学会第10回秋季研究集会	金子貴昭、山路正憲
55	金子 貴昭	『奥細道菅菰抄』の板株再考	2017年12月	京都俳文学研究会12月例会	金子 貴昭
56	古川 耕平	Multi-Site Linked MOCAP Streaming System for Digital Archive of Intangible Cultural Heritage	2017年9月	International Conference on Culture and Computing 2017	Kazuya Kojima, Kohei Furukawa, Mitsuru Maruyama and Kozaburo Hachimura
57	斎藤 進也	「トイレ型 UI」におけるソーシャルログの可視化と共有 —「コミツケーション」の実践を通じて—	2018年3月	情報処理学会 インタラクシオン2018、学術総合センター、東京都	中島理紗、望月茂徳
58	斎藤 進也	Applying Game Design Technology in Visualization Case of VR-Timeline From Digital Humanities Perspective	2017年8月	Re-playing Japan 2017, The strong national museum of play, Rochester, USA	渡辺修司、奥出成希、飯田和敏、竹田章作
59	斎藤 進也	Report on Game Design Work Shop Using "Difficulty Adjustment Engineering" and Narrative Engineering	2017年8月	Re-playing Japan 2017, The strong national museum of play, Rochester, USA	渡辺修司、奥出成希、飯田和敏、竹田章作
60	三須 祐介	上演パンフレットのデジタル・アーカイブ化: 中国上海地域の演劇を例に	2017年6月	研究集会「演劇アーカイブの最前線: イギリスと中国」	三須 祐介
61	三須 祐介	戯単から見る上海地方劇: 新中国建国前後の滬劇を中心に	2017年7月	立命館大学国際言語文化研究所 2017年度萌芽的プロジェクトB7 アジアにおける技術・芸術と社会のダイナミクス第3回研究会	三須 祐介
62	三須 祐介	従《秋海棠》到《紅伶涙》: 現代中国文芸作品中的跨界與男性形象的“漂移”	2017年9月	漂泊與越境: 東亜視域中的作家流徙與文学創生国際学術工作坊	三須 祐介
63	三須 祐介	「秋海棠」から「紅伶涙」へ: 移ろう“男性性”をめぐる	2017年10月	日本現代中国学会第67回全国学術大会	三須 祐介
64	常木 佳奈	鏡花本の《装い》と作品受容に与えた影響	2017年5月13日	日本出版学会春季研究発表会, 日本大学法学部三崎町キャンパス, 東京	

65	常木 佳奈	Toward Building the Digital Archive of Modern Woodblock Kuchi-e Prints	2018年2月 14日	On the Digital Archive and Its Uses for Japanese Humanities: A Collaborative Workshop by the Art Research Center of Ritsumeikan University and the University of California, Berkeley The University of California, Berkeley	
66	西林 孝浩	アジア圏文化資源研究開拓プロジェクト	2017年8月	ARC Days 2017	李増先
67	西林 孝浩	アジアの宗教建築・美術における山岳崇拜	2017年12月	横幹連合コンファレンス (OS7:文化とコンピューティング)、立命館大学朱雀キャンパス	
68	西林 孝浩	中央アジア出身画家曹仲達についてー絵画様式の復元ー	2018年2月	アジアにおける技術・芸術と社会のダイナミクス第4回研究会	
69	西林 孝浩	アジア圏文化資源研究開拓プロジェクト	2018年2月	文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」/研究拠点形成支援プログラム 研究プロジェクト 2017年度 成果発表会	
70	西林 孝浩	アジア圏文化資源研究開拓プロジェクト	2018年2月	アジア圏文化資源研究開拓プロジェクト国際ワークショップ「東アジア演劇研究におけるデジタル・ヒューマニティーズの可能性」	
71	石上 阿希	「絵と言葉の伝播ー『訓蒙図彙』から近世絵入百科事典データベースまで」	2017年7月	「国際シンポジウム 近世絵入百科事典データベース公開記念ー書物にみる絵とことばの350年」、国際日本文化研究センター	
72	長谷川 恭子	ゲームエンジンのLOD機能を活用した3次元レーザ計測ポイントデータの高速表示	2017年7月	可視化情報学会 第45回可視化情報シンポジウム, 工学院大学, 東京	中村 航希, 長谷川 恭子, 田中 覚
73	長谷川 恭子	Planarity を応用した文化財レーザ計測点群の透視可視化における特徴領域強調	2017年7月	可視化情報学会 第45回可視化情報シンポジウム, 工学院大学, 東京	永田 広樹, 長谷川 恭子, 田中 覚
74	長谷川 恭子	Improving Transparent Visualization of Large-Scale Laser-Scanned Point Clouds by using Poisson Disk Sampling	2017年9月	Culture and Computing 2017, Doshisha University, Kyoto, Japan	Shu Yanai, Ryohei Umegaki, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Hiroshi Yamaguchi, Satoshi Tanaka
75	長谷川 恭子	Highlighting Feature Regions Combined with See-Through Visualization of Laser-Scanned Cultural Heritage	2017年9月	Culture and Computing 2017, Doshisha University, Kyoto, Japan	Naoya Okamoto, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Atsushi Okamoto, Satoshi Tanaka
76	長谷川 恭子	High-quality Visualization of a Laser-scanned Point Cloud based on Poisson Disk Sampling and Curvature-dependent Sorting	2017年10月	Tokyo Denki University, Tokyo, Japan	Yukihiro Noda, Shu Yanai, Liang Li, Kyoko Hasegawa, Satoshi Tanaka

77	長谷川 恭子	陰関数曲面補間を利用した高曲率領域抽出による 3 次元点群の凹凸強調可視化	2017 年 12 月	第 8 回横幹連合コンファレンス, 立命館大学, 京都	渡邊達彦, 田中覚, 長谷川恭子, 李亮
78	長谷川 恭子	3 次元計測点群の高品質化による有形文化財の高品質可視化	2018 年 2 月	第 7 回 知識・芸術・文化情報学研究会, 立命館大学 大阪梅田キャンパス, 大阪	野田幸祐, 梁井脩, 田中覚, 長谷川恭子, 李亮
79	長谷川 恭子	適応的点削減を用いた確率的ポイントレンダリングによる高精細ポリゴンメッシュの半透明可視化	2018 年 3 月	第 1 回ビジュアライゼーションワークショップ, 東京都市大学, 横浜	下村哲裕, 長谷川恭子, 李亮, 田中覚
80	長谷川 恭子	3 次元計測点群における点密度調整を用いた有形文化財の特徴領域強調	2018 年 3 月	第 1 回ビジュアライゼーションワークショップ, 東京都市大学, 横浜	永田広樹, 長谷川恭子, 李亮, 田中覚
81	李 増先	Wakokubon: Mirrors of Devotion, Artistic.	2017 年 6 月	RENKEI 2017 Workshop	Zengxian Li
82	李 増先	The Early Japanese Book Database of Art Research Center and It's Future with IIF	2017 年 10 月	IIF Japan Kyoto Round-table	Zengxian Li
83	李 増先	【招待】ケンブリッジ大学図書館における日本資料の TEI メタデータ作成について	2017 年 10 月	第 2 回 TEI コンソーシアム東アジア SIG 会合	李 増先
84	李 増先	ケンブリッジ大学図書館日本資料の TEI メタデータの作成を経て	2018 年 2 月	第 7 回知識・芸術・文化情報学研究会	李 増先
85	李 亮	Effects of Depth Cues on the Recognition of the Spatial Position of a 3D Object in Transparent Stereoscopic Visualization	2017 年 6 月	The 5th International KES Conference on Innovation in Medicine and Healthcare (KES-InMed-17), Vilamoura, Portugal	Yurina Kitaura, Kyoko Hasegawa, Yuichi Sakano, Roberto Lopez-Gulliver, Liang Li, Hiroshi Ando, Satoshi Tanaka
86	李 亮	Depth Recognition in 3D Translucent Stereoscopic Imaging of Medical Volumes by means of a Glasses-Free 3D Display	2017 年 7 月	4th International Conference on Computational Science/ Intelligence & Applied Informatics (CSII 2017), Hamamatsu, Japan	Yurina Kitaura, Kyoko Hasegawa, Yuichi Sakano, Roberto Lopez-Gulliver, Liang Li, Hiroshi Ando, and Satoshi Tanaka
87	李 亮	Visualizing Overlapping Space-Time Regions of Time-Series 2D Experimental Data and 3D Simulation Data: Application to Plasma-Plume Collisions	2017 年 8 月	Asia Simulation Conference 2017, Melaka, Malaysia	Kyoko Hasegawa, Liang Li, Yushi Uenoyama, Shuhei Kawata, Taku Kusanagi, Toshinori Yabuuchi, Kazuo Tanaka, and Satoshi Tanaka
88	李 亮	Improving Transparent Visualization of Large-Scale Laser-Scanned Point Clouds by using Poisson Disk Sampling	2017 年 9 月	2017 International Conference on Culture and Computing, Kyoto, Japan	Shu Yanai, Ryohei Umegaki, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Hiroshi Yamaguchi, and Satoshi Tanaka

89	李 亮	Highlighting Feature Regions Combined with See-Through Visualization of Laser-Scanned Cultural Herutage	2017年9月	2017 International Conference on Culture and Computing, Kyoto, Japan	Naoya Okamoto, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Atsushi Okamoto, and Satoshi Tanaka
90	李 亮	Collision Visualization of a Laser-Scanned Point Cloud of Streets and a Festival Float Model used for the Revival of a Traditional Procession Route	2017年9月	The International Archives of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences, Volume XLII-2/W7, pp.255-261, 2017.ISPRS Geospatial Week 2017, Wuhan, China	Weite Li, Kenya Shigeta, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Keiji Yano, Satoshi Tanaka
91	李 亮	Improving Rendering Quality of Stochastic Point-Based Volume Rendering based on Poisson Disk Sampling	2017年10月	The 36th JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2017), Tokyo Denki University, Tokyo, Japan	Masato Nakai, Liang Li, Kyoko Hasegawa, and Satoshi Tanaka
92	李 亮	High-quality Visualization of a Laser-scanned Point Cloud based on Poisson Disk Sampling and Curvature-dependent Sorting	2017年10月	The 36th JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2017), Tokyo Denki University, Tokyo, Japan	Yukihiro Noda, Shu Yanai, Liang Li, Kyoko Hasegawa, and Satoshi Tanaka
93	李 亮	Lung Segmentation for CT Images with Complex Opacities Using a Fully Convolutional Network	2017年10月	The 13th Joint Workshop in Machine Perception and Robotics, Peking University, Beijing, China	Jiao Pan, Rui Xu, Xincheno Ye, Liang Li, Yasushi Hirano, Shoji Kido, and Satoshi Tanaka
94	李 亮	Collision Visualization of a Laser-Scanned Point Cloud of Streets and a Festival Float Model for the Revival of a Traditional Procession Route	2017年10月	The 13th Joint Workshop in Machine Perception and Robotics, Peking University, Beijing, China	Weite LI, Kenya SHIGETA, Kyoko HASEGAWA, Liang LI, Keiji YANO, and Satoshi TANAKA
95	李 亮	大規模な粒子ボリュームデータの半透明可視化と大規模津波への応用	2017年11月	平成29年 電気関係学会関西連合大会, 近畿大学	太田悠斗, 岸田崇史, 長谷川恭子, 李亮, 中田聡史, 田中覚
96	李 亮	陰関数曲面補間を利用した高曲率領域抽出による3次元点群の凹凸強調可視化	2017年12月	第8回横幹連合コンファレンス, 立命館大学	渡邊達彦, 田中覚, 長谷川恭子, 李亮
97	李 亮	3次元計測点群の高品質化による有形文化財の高品質可視化	2018年2月	第7回 知識・芸術・文化情報学研究会, 立命館大学 大阪梅田キャンパス	野田幸裕, 梁井脩, 田中覚, 長谷川恭子, 李亮
98	李 亮	適応的点数削減を用いた確率的ポイントレンダリングによる高精細ポリゴンメッシュの半透明可視化	2018年3月	第1回ビジュアルリゼーションワークショップ, 東京都市大学	下村哲裕, 長谷川恭子, 李亮, 田中覚
99	李 亮	3次元計測点群における点密度調整を用いた有形文化財の特徴領域強調	2018年3月	第1回ビジュアルリゼーションワークショップ, 東京都市大学	永田広樹, 長谷川恭子, 李亮, 田中覚
100	李 亮	【招待】 Virtual yamahoko Parade: A Virtual Tour of a Triditional Japanese Festival	2018年3月	The 9th International Conference on Global Resource Conservation (ICGRC) - Asian Japan Research Institute (Aji), Ijen Suites Hotel Resort & Convention, Malang	Liang Li, Kozaburo Hachimura, and Satoshi Tanaka
101	李 亮	【Keynote】 Digital Archiving of 3D Cultural Heritages in Japan and	2018年3月	The 9th International Conference on Global Resource Conservation	Satoshi Tanaka, Liang Li, and Kyoko Hasegawa



		Indonesia		(ICGRC) - Asian Japan Research Institute (Aji), Ijen Suites Hotel Resort & Convention, Malang	
102	Biligsaikhan Batjargal	Providing Bilingual Access to Early Japanese Book Databases - Utilization of Linked Open Data	2017年6月	Open Cultural Heritage Scholarship Workshop (デジタル文化財ビジネスとオープンデータ:ローマから日本へ)、立命館大学、京都市	Biligsaikhan Batjargal
103	Biligsaikhan Batjargal	Creating a Digital Edition of Mongolian Historical Documents	2017年9月	International Conference on Culture and Computing (Culture and Computing 2017), Doshisha University, Kyoto, Japan	Biligsaikhan Batjargal Garmaabazar Khaltarkhuu, and Akira Maeda
104	Biligsaikhan Batjargal	Linking the Same Ukiyo-e Prints in Different Languages by Exploiting Word Semantic Relationships across Languages	2017年8月	Digital Humanities 2017, McGill University, Université de Montréal, Montreal, Canada	Yuting Song, Taisuke Kimura, Biligsaikhan Batjargal and Akira Maeda
105	Biligsaikhan Batjargal	国文学研究資料館の「新古典籍総合目録データベース」のバイリンガル化対応の試み	2017年11月	第44回 ARC セミナー、立命館大学、京都市	Biligsaikhan Batjargal
106	Biligsaikhan Batjargal	日本の人文系データベースへのバイリンガル並列アクセスの実現 -横断検索システムの開発	2017年12月	第8回横断連合コンファレンス、立命館大学、京都市	Biligsaikhan Batjargal, 前田 亮
107	Biligsaikhan Batjargal	古代文字フォントの画像データに基づく手書き篆文文字の検索支援	2017年12月	人文科学とコンピュータシンポジウム、大阪市立大学、大阪市	李 康 穎, Biligsaikhan Batjargal, 前田 亮
108	Biligsaikhan Batjargal	篆書体による蔵書印の文字認識の試み	2018年2月	第7回「知識・芸術・文化情報学研究会」、立命館大学、大阪市	李 康 穎, Biligsaikhan Batjargal, 前田 亮
109	Biligsaikhan Batjargal	生成モデルによる篆書体の文字認識手法の提案	2018年3月	第10回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (第16回日本データベース学会年次大会)、清風荘、福井県あわら市	李 康 穎, Biligsaikhan Batjargal, 前田 亮
110	加茂 瑞徳	Examination from Dyeing and Weaving Historical Sources: A Focus on Katagami and Designs	2017年7月	Asian Studies Conference Japan (ASCJ), Rikkyo University, Tokyo	
111	加茂 瑞徳	Changes in Yuzen Marketing Strategies and their Reflections in Pattern Designs, 1892-1911	2017年6月	Popularizing Fabrics and Clothing: Kyoto Yuzen Industry in Broader Context 1600-1970, Ritsumeikan University	
112	加茂 瑞徳	Design Competitions in the Meiji Period: A Case Study of the Yuzen Association	2017年10月	国際シンポジウム『染色デザインの世界の連環:型紙、パティック、更紗、「アフリカン・プリント」を中心に』、立命館大学	
113	細井 尚子	「近代化與全球化——試從『翻案』思考大眾娛樂研究」	2017年12月	「東亞大眾戲劇研究國際論壇 歌・舞・戲—大眾演劇の魅力」台湾・国立台北芸術大学、台北市	邱坤良、輪島裕介、海震、張啓豐、徐亞湘
114	細井 尚子	(招待)「日本の『小劇場運動』与『小劇場』」	2018年1月	『台湾新劇与時代精神』—台日文化論壇」台湾彰化县政府・文化局主催・実施 機関財団法人頼和文教基金会、台湾・彰	吳叡人、紀旭峰、張佳菜、呂興忠、石婉舜、土屋美暁

				化県立図書館演講庁	
115	鹿内 菜穂	人文科学とコンピュータ分野発展への課題:「人材育成」「キャリアパス」「社会貢献」「記録メディア」	2017年5月	情報処理学会 人文科学とコンピュータ研究会, 龍谷大学 (響都ホール)	鹿内菜穂
116	鹿内 菜穂	Analysis of Interpersonal Effects in Dance Performance	2017年9月	Culture and Computing 2017, Kyoto, Japan	Nao Shikanai & Kozaburo Hachimura
117	鹿内 菜穂	Effects of the Presence of an Audience on Dance Movements: A trial analysis of male and female dancers	2017年10月	ICCAS 2017, 17th International Conference on Control, Automation and Systems, Jeju, Korea	Nao Shikanai
118	前田 亮	白川フォントの画像データに基づく手書き篆書文字検索支援	2017年12月	第8回横幹連合コンファレンス, 立命館大学朱雀キャンパス, 京都市	李 康穎, バトジャルガル ビルゲサイハン, 前田 亮
119	前田 亮	複数言語からなるデジタルコレクションからの同一浮世絵作品の同定手法	2017年12月	第8回横幹連合コンファレンス, 立命館大学朱雀キャンパス, 京都市	Song Yuting, Batjargal Biligsaikhan, 前田 亮
120	前田 亮	日本の人文系データベースへのパイリンガル並列アクセスの実現・横断検索システムの開発	2017年12月	第8回横幹連合コンファレンス, 立命館大学朱雀キャンパス, 京都市	バトジャルガル ビルゲサイハン, 前田 亮
121	前田 亮	古代文字フォントの画像データに基づく手書き篆文字の検索支援	2017年12月	人文科学とコンピュータシンポジウム, 大阪市立大学杉本キャンパス, 大阪市	李 康穎, Batjargal Biligsaikhan, 前田 亮
122	前田 亮	篆書体による蔵書印の文字認識の試み	2018年2月	第7回知識・芸術・文化情報学研究会, 立命館大学梅田キャンパス, 大阪市	李 康穎, Batjargal Biligsaikhan, 前田 亮
123	前田 亮	生成モデルによる篆書体の文字認識手法の提案	2018年3月	第10回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム, 清風荘, 福井県あわら市	Li Kangying, Batjargal Biligsaikhan, 前田 亮
124	前田 亮	専門用語の活用による学術論文の生成的要約手法	2018年3月	第10回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2018), 清風荘, 福井県あわら市	梁 燦彬, 前田 亮
125	前田 亮	組み合わせを考慮した献立検索手法の提案	2018年3月	第10回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2018), 清風荘, 福井県あわら市	南谷 悠大, 前田 亮
126	前田 亮	経営哲学に関する講演録を用いた質問応答システム	2018年3月	第10回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2018), 清風荘, 福井県あわら市	三品 博崇, 青山 敦, 前田 亮
127	前田 亮	トピックモデルを用いたツイッターフォロー情報からのユーザ嗜好の推測手法の提案	2018年3月	第10回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2018), 清風荘, 福井県あわら市	WANG Yu, 前田 亮
128	前田 亮	マイクロブログを対象にしたエンティティリンキングにおける語義曖昧性解消	2018年3月	第10回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2018), 清風荘, 福井県あわら市	浦田 智昭, 前田 亮
129	大西 秀紀	町田佳聲と古曲保存会レコード	2017年9月	2017年前記でんおん講座F 三味線音楽研究—町田佳聲をめぐって、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター	山田智恵子、小塩 さとみ、大久保 真利子、寺田 真由美、野川 美穂子、配 川 美加、吉野 雪子、薦田 治子、廣井 榮子

130	大西 秀紀	コロムビア大広告塔の出来るまで	2018年1月	大阪芸能懇話会1月例会、難波生涯学習センター	肥田皓三
131	島川 博光	Prediction of Pedestrian Crosswalk at Distraction Reflecting Walking Characteristics	2017年12月	the 6th the International Conference on Information Technology and Its Applications, Danang, Vietnam	Hiroki Kitamura, Yusuke Kajiwara, and Hiromitsu Shimakawa
132	島川 博光	Improve meta-recognition ability to construct good questions from Browsing Log of e-Learning Materials	2017年12月	the 6th the International Conference on Information Technology and Its Applications, Danang, Vietnam	Hiroki Kitamura, Yusuke Kajiwara, and Hiromitsu Shimakawa
133	島川 博光	Stimulating Interest by Guide Avatar in Virtual Reality Space	2017年12月	the 6th the International Conference on Information Technology and Its Applications, Danang, Vietnam	Keisuke Katsura, and Hiromitsu Shimakawa
134	島川 博光	Automatic Scoring System of Fill-in-the-Blank Tests to Measure Programming Skills	2017年12月	the 6th the International Conference on Information Technology and Its Applications, Danang, Vietnam	So Asai, and Hiromitsu Shimakawa
135	島川 博光	Impartment of Japanese Farming into Vietnam Remotely with IoT Considering Motivation of Farmers	2017年12月	the 6th the International Conference on Information Technology and Its Applications, Danang, Vietnam	Dinh Thi Dong Phuong and Hiromitsu Shimakawa
136	島川 博光	Estimating Emotion for Each Personality to Prevent School Dropout	2017年9月	The 8th International Conference on Sensor Device Technologies and Applications (SENSORDEVICES 2017), Rome, Italy,	Emi Takemoto, Yusuke Kajiwara, Hiromitsu Shimakawa
137	島川 博光	Generating Fill-in-the-Blank Tests to Detect Understanding Failures of Programming	2017年9月	The Ninth International Conference on Advances in Future Internet (AFIN 2017), Rome, Italy,	So Asai, Yoshiharu Yamauchi, Yusuke Kajiwara and Hiromitsu Shimakawa
138	島川 博光	Generating Fill-in-the-Blank Tests to Detect Understanding Failures of Programming	2017年9月	The Ninth International Conference on Advances in Future Internet (AFIN 2017), Rome, Italy,	So Asai, Yoshiharu Yamauchi, Yusuke Kajiwara and Hiromitsu Shimakawa
139	島川 博光	Immersion Discriminated from Browsed Information in Writing Document Referring Web Pages	2017年9月	The 11th International Conference on Sensor Technologies and Applications (SENSORCOMM 2017), Rome, Italy,	Takahisa Oe, Shinya Yonekura, Hiromitsu Shimakawa
140	八村 広三郎	Digital Archives of Intangible Cultural Properties	2017年9月	International Conf. on Culture and Computing. 同志社大学、京都市	
141	飯塚 隆藤	三遠南信地域の歴史 GIS データベース化	2018年2月	2017年度越境地域政策研究フォーラム、愛知大学、豊橋市	
142	木立 雅朗	五条坂の窯業から見た「工芸」の実態-京焼・理化学陶磁器・民藝-	2017年9月	近代京都科研発表会、京都工芸繊維大学美術工芸資料館、京都市	
143	木立 雅朗	石川県小松市・那谷金比羅山窯跡群の大型窯	2017年8月	窯跡研究会第16回研究会、備前焼伝統産業会館、備前市	
144	木立 雅朗	五条坂京焼登り窯の民俗考古学的調査	2017年5月	日本考古学協会第83回総会研究発表、大正大学、東京都	田島靖大・濱岡宏理・森田真由香
145	木立 雅朗	伝統工芸の民俗考古学的調査	2017年4月	近代京都科研発表会、京都工芸繊維大学美術工芸資料館、京都市	

146	矢野 桂司	Virtual Kyoto Platform,	2017年6月	Open Cultural Heritage Scholarship Workshop	Keiji Yano
147	矢野 桂司	A Japanese Old Maps Online: Toward an Open Platform for Collaborative Research in the Digital Humanities,	2017年6月	International Cartographic Congress 2017,	Keiji Yano, Ryo Kamata and Benjamin Lewis
148	矢野 桂司	日本版 Map Warper の構築と活用	2017年10月	第26回学術研究発表大会	矢野桂司・鎌田遼
149	矢野 桂司	すまいの耐震化の普及・支援のためのジオデモグラフィクスの活用	2017年10月	第26回学術研究発表大会	上杉昌也・矢野桂司
150	矢野 桂司	クラウドソーシングを活用した写真資料(古写真)の地理情報等の同定方法の検討とその課題ー京都市電のデジタルアーカイブ写真を事例としてー	2017年10月	第26回学術研究発表大会	高橋彰・河角直美・矢野桂司・山路正憲・山本俊平・佐藤弘隆・今村聡
151	矢野 桂司	京都地籍図を用いた大正期における地価の時空間分析	2017年10月	第26回学術研究発表大会	青木和人・矢野桂司・中谷友樹
152	矢野 桂司	時間別滞留人口分布に基づく都市空間構造の把握ーモバイル空間統計の活用ー	2017年10月	第26回学術研究発表大会	花岡和聖・中谷友樹・矢野桂司
153	矢野 桂司	京都地籍図を用いた大正期における地価の時空間分析	2017年10月	第26回学術研究発表大会	青木和人・矢野桂司・中谷友樹
154	矢野 桂司	デジタルアーカイブ写真のGIS化とその活用ー「京都の鉄道・バス写真データベース」の構築ー	2017年12月	人文科学とコンピュータシンポジウム 論文集(情報処理学会シンポジウムシリーズ)	山本峻平・佐藤弘隆・高橋彰・河角直美・井上学・矢野桂司
155	矢野 桂司	日本の古地図ポータルサイト	2018年3月	GIS Day in 関西 2018 & 国際ワークショップ「日本の古地図ポータルサイト」	矢野桂司・塚本章宏
156	矢野 桂司	趣旨説明:日本の古地図ポータルサイト	2018年3月	2017年国際ワークショップ「日本の古地図ポータルサイト」	矢野桂司・塚本章宏
157	矢野 桂司	カリフォルニア大学バークリー校所蔵古地図コレクションの来歴と今後の展開ー渡米からデジタルアーカイブまでー	2018年3月	2017年国際ワークショップ「日本の古地図ポータルサイト」	矢野桂司・塚本章宏
158	鈴木 桂子	Lecture on Kyo-yuzen and Viewing of the ARC Stencil Collection	2017年6月	国際シンポジウム”Popularizing Fabrics and Clothing: Kyoto Yuzen Industry in broader context 1600-1970”	
159	鈴木 桂子	Comment on "The Global Circulation and Transformation of Two Types of Embroideries Introduced into Japan. From China to Japan, India, Europe and South America," presented by Masako Yoshida	2017年7月	国際シンポジウム”Global Circulations and Transformations: Art and Textile in East Asia 1540-1760 “京都工芸繊維大学	

160	鈴木 桂子	Stencils Made in Ise and Used in Kyoto and the World	2017年7月	国際シンポジウム"Global Costume: Kosode, Dofuku, Banyan, Kebaya and Japanese Rok 1500-1850. A dialogue of Global Circulation between Art History, Economy and Material Culture" 九州大学	
161	鈴木 桂子	Digital Humanities for Japanese Arts and Cultures	2017年10月	IIIF Japan 京都ラウンドテーブルデジタル化した文化資源をWEB公開するための世界標準規格 IIIFーその可能性と将来像ー 衣笠キャンパス ARC	
162	鈴木 桂子	"Katagami Designs from a Global Perspective"	2017年10月	国際シンポジウム"Textile Pattern Designs in the Global Entanglement: Katagami, Batik, Sarasa and 'African Prints' on the Move, 1800-2000", 衣笠キャンパス、アート・リサーチセンター	
163	鈴木 桂子	"On Textile Pattern Designs' Global Entanglement with its focus on Batik, "African Prints" and Katagami Stencils"	2018年3月	Discussion Forum, Indonesian Institute of Sciences (LIPD), インドネシア・ジャカルタ市	
164	脇田 航	移動体の低コストかつ高度没入可能なトレイグジスタンスシステム	2018年2月	知覚情報研究会「複合現実型実応用および一般」、ハウステンボス タワーシティプラザ第6会議室, 佐世保市	早川達也, 齊藤充行, 小林康秀, 脇田 航
165	脇田 航	高度没入型簡易無限歩行システムのための下半身の姿勢推定	2018年2月	知覚情報研究会「複合現実型実応用および一般」、ハウステンボス タワーシティプラザ第6会議室, 佐世保市	山本智之, 齊藤充行, 小林康秀, 脇田 航
166	脇田 航	簡易没入型 VR 歩行システムの試作	2017年10月	知覚情報研究会「複合現実型実応用および一般」、電気学会会議室, 東京都	脇田 航
167	脇田 航	簡易モーションベースの提案および試作	2017年10月	知覚情報研究会「複合現実型実応用および一般」、電気学会会議室, 東京都	脇田 航
168	脇田 航	没入型 VR 環境内での生体情報の可視化	2017年10月	知覚情報研究会「複合現実型実応用および一般」、電気学会会議室, 東京都	伊藤拓親, 齊藤充行, 小林康秀, 脇田 航
169	脇田 航	Derivation Method of Optimal Solution on Output Feedback Control	2017年9月	SICE 2017, Kanazawa, Japan	Daijiro Yoshimura, Mitsuyuki Saito, Wataru Wakita, and Yasuhide Kobayashi
170	脇田 航	知・技の伝承と複合現実型実応用に関する活動報告	2017年9月	平成29年 電気学会電子・情報・システム部門大会, 技術委員会企画セッション, TC17 知覚情報: 知・技の伝承と複合現実型実応用, サンポートホール高松, 高松市	脇田 航
171	脇田 航	パラメータ変動システムの同定とパラメータ予測法	2017年9月	平成29年 電気学会電子・情報・システム部門大会, 学生ポスターセッション, PS5 制御・情報システム, サンポートホール高松, 高松市	網本勇樹, 小林康秀, 齊藤充行, 脇田 航

172	脇田 航	車両の非線形特性を考慮した車両モデルを用いた修正前輪操舵角の導出	2017年9月	平成29年 電気学会電子・情報・システム部門大会, 学生ポスターセッション, PS5 制御・情報システム, サポートホール高松, 高松市	三浦大輝, 齊藤充行, 脇田航, 小林康秀
173	脇田 航	Frequency-Domain Characterization of the Output Feedback Control Which has an Optimal Solution	2017年9月	平成29年 電気学会電子・情報・システム部門大会, SS2 Student Session (II) : Measurement / Control / Information Processing / Software, サポートホール高松, 高松市	Daisuke Yamatani, Mitsuyuki Saito, Daijiro Yoshimura, Wataru Wakita, and Yasuhide Kobayashi
174	脇田 航	手技解明のための VR 環境における筋電情報の可視化	2017年9月	平成29年 電気学会電子・情報・システム部門大会, 学生ポスターセッション, PS3 生体医工学・福祉工学・バイオエレクトロニクス, サポートホール高松, 高松市	伊藤拓親, 齊藤充行, 小林康秀, 脇田 航
175	脇田 航	簡易モーションベースの試作	2017年9月	知覚情報研究会「複合現実型実用および一般」, PI-17-074, グランフロント大阪 北館・ナレッジキャピタル 9F 関大うめきたラボ, 大阪市	脇田 航
176	脇田 航	簡易没入型 VR 歩行システム	2017年9月	知覚情報研究会「複合現実型実用および一般」, PI-17-073, グランフロント大阪 北館・ナレッジキャピタル 9F 関大うめきたラボ, 大阪市	脇田 航
177	脇田 航	手指動作における没入型 VR 環境内での筋活動の可視化	2017年9月	知覚情報研究会「複合現実型実用および一般」, PI-17-071, グランフロント大阪 北館・ナレッジキャピタル 9F 関大うめきたラボ, 大阪市	伊藤拓親, 齊藤充行, 小林康秀, 脇田 航
178	脇田 航	全周映像および慣性力呈示可能な高度没入型トレイグジスタンスシステム	2017年8月	第22回知能メカトロニクスワークショップ, 山梨大学甲府西キャンパス, 甲府市	早川達也, 齊藤充行, 小林康秀, 脇田 航
179	脇田 航	未知な変動パラメータを含むシステムのパラメータ予測	2017年8月	第22回知能メカトロニクスワークショップ, 山梨大学甲府西キャンパス, 甲府市	網本勇樹, 小林康秀, 齊藤充行, 脇田 航
180	脇田 航	没入型 VR 環境における筋活動の可視化	2017年8月	第22回知能メカトロニクスワークショップ, 山梨大学甲府西キャンパス, 甲府市	伊藤拓親, 齊藤充行, 小林康秀, 脇田 航
181	脇田 航	出力フィードバック制御における観測雑音の影響評価法の自動操舵制御への適用	2017年5月	自動車技術会 2017年春季大会, No.476, パシフィコ横浜, 横浜市	吉村大二郎, 齊藤充行, 山谷大介, 脇田 航, 小林康秀
182	脇田 航	ドライバの運転動作を考慮した自動運転のための車両モデルの交差点と狭路区間への適用	2017年5月	自動車技術会 2017年春季大会, No.476, パシフィコ横浜, 横浜市	三浦大輝, 齊藤充行, 吉村大二郎, 脇田 航, 小林康秀
183	西浦 敬信	Sound Distance Perception Based on Weighted Room Impulse Responses with Head-enclosed Back-surround Loudspeaker-array	2018年3月	NCSP 2018, pp.283-286, Hawaii, USA	Misaki Otsuka, Yukoh Wakabayashi, Takahiro Fukumori, Masato Nakayama and Takanobu Nishiura

184	西浦 敬信	Sound Reproduction by Concatenative Synthesis for Japanese Traditional Music Box	2017年9月	Culture and Computing 2017, pp.153-154, Kyoto, Japan	Misaki Otsuka, Sayaka Okayasu, Takahiro Fukumori, Takanobu Nishiura and Ryo Akama
185	西浦 敬信	HRTF Personalization Based on Pinna Shape Estimation with Handy Three-dimensional Scanner	2017年12月	IEICE Technical Report, Vol.117, No.328, pp. 121-126, Auckland, New Zealand	Zhuan Zuo, Takahiro Fukumori, Masato Nakayama, Takanobu Nishiura
186	赤間 亮	The Keyes catalogue raisonne online.	2017年5月	Late Hokusai: Thought, Technique, Society Workshop and Symposium	Ryo Akama, Ryoko Matsuba
187	赤間 亮	Japanese Woodblock Prints of Tales and Plays in Landscape Format	2017年7月	Landscapes in Art, Theory, and Practice across Media, Time, and Place	RYO AKAMA
188	赤間 亮	デジタルとアナログの狭間で —パフォーミングアーツにおけるデジタルヒューマニティーズ—	2017年10月	能楽のウェブ発信とその未来 —デジタル資料アーカイブから新たなコンテンツ制作の試みまで—	赤間 亮
189	赤間 亮	尾上松之助遺品資料のデジタル・アーカイブズ	2017年12月	日本映画120年記念特別上映・講演会「日本映画の父牧野省三先生／日本映画初の大スター尾上松之助を観る」	赤間 亮
190	赤間 亮	The Art Research Center' s Digital Archive System	2018年2月	On the Digital Archive and Its Uses for Japanese Humanities: A Collaborative Workshop by the Art Research Center of Ritsumeikan University and the University of California, Berkeley	RYO AKAMA
191	川越 恭二	Prototyping a Recommendation System for Ukiyo-e using Hybrid Recommendation Algorithm	2017年9月	Twelfth International Conference on Digital Information Management(ICDIM 2017)、九州大学、福岡市	Pritish Patil, Jiayun Wang, Yuya Aratani, Kyoji Kawagoe
192	川越 恭二	Ukiyo-e Recommender System Using Restricted Boltzmann Machine	2017年12月	19th International Conference on Information Integration and Web-based Applications & Services (iiWAS2017), Satzburug, Austria	Jiayun Wang, Kyoji Kawagoe
193	川越 恭二	Music Playlist Recommendation Using Acoustic-Feature Transition inside the Song	2017年12月	15th International Conference on Advances in Mobile Computing and Multimedia (MoMM2017) , Satzburug, Austria	Shobu Ikeda, Kenta Oku, Kyoji Kawagoe
194	川越 恭二	Background Music Recommendation System Based on User's Heart Rate and Elapsed Time	2018年2月	International Conference on Computer and Automation Engineering (ICCAE2018), Brisbane, Australia	Kaiyuan Bai and Kyoji Kawagoe
195	川越 恭二	Music Playlist Recommender System AFT-IS	2018年2月	International Conference on Computer and Automation Engineering (ICCAE2018), Brisbane, Australia	Shobu Ikeda, Kenta Oku and Kyoji Kawagoe
196	川越 恭二	A Recommender System for Ancient Books, Pamphlets and Paintings in Ritsumeikan Art Research Center Database	2018年2月	International Conference on Computer and Automation Engineering (ICCAE2018), Brisbane, Australia	Jiayun Wang and Kyoji Kawagoe

197	川越 恭二	Ancient Japanese Painting Recommendation for Non-Japanese Novices	2018年3月	第10回データ工学と情報マネジメント に関するフォーラム(DEIM2018), あ はら市、福井県	王嘉韻,川越恭二
198	細井 浩一	Virtual exhibition of Japanese Cultural Assets	2017年6月	“Digital Cultural Heritage Business and Open Data: Bringing Rome to Japan”, Japan-UK Research and Education Network for Knowledge Economy Initiatives (RENKEI) Workshop	Koichi Hosoi
199	細井 浩一	Game Preservation Roundtable	2017年8月	Replaying Japan 2017	Jon-Paul Dyson, Aki Nakamura, Martin Roth, Hosoi Koichi, Geoffrey Rockwell
200	細井 浩一	Challenges for data-based approaches to videogame culture	2017年9月	Data-based approaches to local and global video game cultures: opportunities, challenges, future directions(Diggr-Workshop)	Koichi Hosoi, Kazufumi Fukuda, Akito Inoue
201	細井 浩一	A short story on the activities of game preservation in Ritsumeikan University	2017年9月	"Kulturgut Computerspiel...". Eine internationale Tagung des Computerspiele...	Koichi Hosoi
202	細井 浩一	ファッション教育におけるイノベー ションと社会化サービスの可能性	2017年9月	国際学術検討会『ファッション・イノベ ーション・社会化サービス—世界の中の 大連と日本—』	細井浩一

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	安井眞奈美教授特別講演 "Imaging the Spirit of a Pregnant Woman, Dead: Towards a comparative study of the spiritual world"	ニュージーラン ド、オークランド 大学	2017年11月 24日	30名	オークランド大学文芸学部 (Faculty of Arts)、 オークランド大学日本研究センター (Japan Studies Centre)
2	全国バスマップサミット in やまなし	恩賜林記念館・藤 村記念館	2017年12月	90名	
3	アジアにおける技術・芸術と社会のダイナ ミクス第3回研究会	アート・リサーチ センター会議室	2017年7月	8名	立命館大学国際言語文化研究所 (主催機関)
4	アジアにおける技術・芸術と社会のダイナ ミクス第4回研究会	アート・リサーチ センター会議室	2018年2月	8名	立命館大学国際言語文化研究所 (主催機関)
5	「国際シンポジウム 近世絵入百科事 典データベース公開記念 書物にみる絵 とことばの350年」	国際日本文化研究 センター	2017年7月 24、25日	66名	後援: 機関拠点型基幹研究プロジェクト「大衆 文化の通時的・国際的研究による新しい日本像 の創出」、広領域連携型基幹研究プロジェクト 「異分野融合による「総合書物学」の構築 日文 研ユニット「キリシタン文学の継承: 宣教師の 日本語文学」共催: 科研費若手研究 (B)「18世 紀上方・江戸における出版と都市文化の関連性 —西川祐信を中心として—」



6	西川祐信『正徳雛形』研究会、第36~47回	立命館大学 ARC 会議室	2017年4- 2018年3月毎 月1回	毎回約10 名	
7	中村座日記研究会	立命館大学	2017年6月	4名	
8	中村座日記研究会	同志社女子大学	2017年9月	9名	
9	近代京都と染織図案—近代京都と染織図 案 I	京都工芸繊維大学	2017年10月	60名	
10	「台湾の大衆演劇空間における異文化と その受容」簡秀珍（台湾・台北芸術大学） 「天勝一座の上演—20世紀前半の演芸潮 流の関係から—」許書恵（台湾・台北芸術 大学）「“大衆演劇”—民族誌的方法による 観察と報告」（細井はアジア地域研究所所 員・企画・通訳・コメンテーター）	東京・立教大学	2017年11月	25名	立教大学アジア地域研究所主催研究セミナー
11	「演劇事象にみられる異文化受容として の翻案・翻訳」石婉舜（台湾国立清華大学） 「テキストの文脈と文化翻訳：林搏秋作 『閩雑』の地方色と風格形式」洪榮林（韓 国延世大学・研究協力者）「韓国近代楽劇 の発展と変化」（細井はアジア地域研究所 所員・企画・通訳・コメンテーター）	東京・立教大学	2018年2月	25名	立教大学アジア地域研究所主催研究セミナー
12	「東亜大衆演劇研究国際論壇 歌・舞・戯 —大衆演劇的魅力」	台湾・国立台北芸 術大学	2017年12月	100名	台北芸術大学主催・立教大学アジア地域研 究所、立教SFR共催（細井は国外合作主持人）
13	International Conf. on Culture and Computing	同志社大学	2017年9月	約80名	
14	国際シンポジウム”Popularizing Fabrics and Clothing: Kyoto Yuzen Industry in broader context 1600-1970”	衣笠キャンパス、 アート・リサーチ センター	2017年6月	17名	「糸・布・衣循環史研究会」（科研費補助金基盤 B研究課題「糸・布・衣の廉価化の世界史」）、 立命館大学アート・リサーチセンター 文部科学 省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源 デジタル・アーカイブ研究拠点」研究課題「デ ジタル・アーカイブ手法を用いた近代染織資料 の整理と活用」、政治経済学・経済史学会「糸・ 布・衣の循環史」フォーラム
15	国際シンポジウム”Textile Pattern Designs in the Global Entanglement: Katagami, Batik, Sarasa and 'African Prints' on the Move, 1800-2000”	衣笠キャンパス、 アート・リサーチ センター	2017年10月	42名	立命館大学アート・リサーチセンター文部科学 省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デ ジタル・アーカイブ研究拠点」研究課題「京 都を起点とした染色技術及びデザインのグロー ーバルな展開に関する研究」、「糸・布・衣循環 史研究会」（科研費補助金基盤B研究課題「糸・ 布・衣の廉価化の世界史」）
16	知覚情報研究会「複合現実型実応用および 一般」,	ハウステンボス タワーシティプラ ザ第6会議室, 佐 世保市	2018年2月	20名	電気学会C部門 知覚情報研究会知・技の伝承 と複合現実型実応用協同研究委員会

17	知覚情報研究会「複合現実型実応用および一般」,	愛媛大学城北キャンパス, 松山市	2017年12月	16名	電気学会 C 部門 知覚情報研究会知・技の伝承と複合現実型実応用協同研究委員会
18	平成 29 年 電気学会電子・情報・システム部門大会, 技術委員会企画セッション, TC17 知覚情報: 知・技の伝承と複合現実型実応用	サンポートホール 高松, 高松市	2017年9月	20名	電気学会 C 部門 知覚情報研究会知・技の伝承と複合現実型実応用協同研究委員会
19	知覚情報研究会「複合現実型実応用および一般」,	グランフロント大阪 北館・ナレッジキャピタル 9F 関大うめきたラボ, 大阪市	2017年9月	84名	電気学会 C 部門 知覚情報研究会知・技の伝承と複合現実型実応用協同研究委員会
20	公開セミナー 「ディスカバリー・サービスが変える公共図書館—いよいよ始まるトライアル」	立命館大阪梅田キャンパス	2017年6月	50名	
21	公開セミナー 「ディスカバリー・サービス公共図書館版—トライアル中間報告会」	立命館大阪梅田キャンパス	2017年10月	30名	
22	公開セミナー「電子出版活用型図書館の現在」	立命館大学アート・リサーチセンター	2018年1月	25名	
23	公開セミナー「日本初・公共図書館におけるディスカバリー・サービスのトライアル最終報告会」	立命館大阪梅田キャンパス	2018年3月	50名	

5. その他研究活動 (報道発表や講演会等)				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	岩切 友里子	講演会「国芳の魅力 その豊かな画想」	慶應義塾大学 日吉キャンパス	2017年10月7日
2	田中 覚	3次元計測点群における点密度調整を用いた有形文化財の特徴領域強調	第1回ビジュアライゼーションワークショップ (東京都市大学, March 2, 2018) 優秀賞 (大学院生の部)	2017年4月1日 ~2018年3月1日
3	田中 覚	適応的削減を用いた確率的ポイントレンダリングによる高精細ポリゴンメッシュの半透明可視化	第1回ビジュアライゼーションワークショップ (東京都市大学, March 2, 2018) 最優秀賞 (学部生の部)	2017年4月1日 ~2018年3月1日
4	Lawrence E. Marceau	(招待) 公開講演「イソップ物語は、江戸時代にもよく読まれていた! —西洋古典の日本への輸入—」	石川県小松市、老人保健施設まだら園	2018年3月4日
5	井上 学	自治体とバス事業者の協調と連携—お互いを理解しながら沿線住民の参加を促進した運営に向けて—	滋賀県政活交通バス担当者人材育成研修会 (滋賀県大津市)	2017年7月18日
6	井上 学	子育てと公共交通について	宇治田原町あそびの広場 (京都府宇治田原町)	2017年12月15日
7	亀田 和子	Beautiful Fighting Girls in Manga and Anime: Transformation and Magical Powers	Kawaii Kon Panel Presentation, Hawaii Convention Center	2018年3月4日
8	亀田 和子	Post-Miyazaki Sensation: A Study of Your Name. (2016)	Kawaii Kon Panel Presentation, Hawaii Convention Center	2017年4月9日
9	金子 貴昭	ミニレクチャー「法蔵館の板木蔵について」	株式会社法蔵館	2017年4月2日
10	金子 貴昭	特別講師 歴史学演習「近世の出版 (版木)」	熊本県立大学	2017年7月7日
11	金子 貴昭	『奥細道菅菰抄』とその板木	奥の細道むすびの地記念館 (おおがき芭蕉大学)	2017年8月6日

12	金子 貴昭	法藏館の板木蔵と板木	近世の宗教と社会研究会 東本願寺例会	2017年12月24日
13	斎藤 進也	働き方改革とキャリアの多様化 ～キャリアの多様化実現に向けたテクノロジー活用の可能性～	HR サミット 2017, 赤坂インターシティ Air, 東京	2017年9月22日
14	斎藤 進也	ゲーミングビジュアルライゼーションの人文的応用プロジェクト	ARC Days 2017, 立命館大学, アートリサーチ・センター	2017年8月5日
15	西林 孝浩	【講演】中国美術における天と山：漢～唐の造形表象とその変遷	立命館大学土曜講座「臥以遊之（ふしてもってこれにあそばん）：中国の芸術文化に親しむ」	2018年1月
16	石上 阿希	「近世絵入百科事典データベース」	<a href="http://dbserver.nichibun.ac.jp/EHJ/index.html">http://dbserver.nichibun.ac.jp/EHJ/index.html</a>	2017年7月公開
17	石上 阿希	「日本初の絵入百科事典データベース化」	『京都新聞』朝刊	2017年7月20日
18	石上 阿希	「探検！データベースの森 四条河原と森」	『京都新聞』朝刊	2017年6月21日
19	石上 阿希	「発信・再発見ニッポン 江戸の風俗カラリ 日本初の「春画博士」石上阿希さん 絵師のユーモア現代に」	『日本経済新聞』朝刊	2017年4月30日
20	川嶋 将生	もう一つの中世被差別民像―襲名・官途・花押― (講演)	ハートピア京都	2017年12月8日
21	倉橋 正恵	書評「武井協三著『歌舞伎とはいかなる演劇か』」	『週刊読書人』	2017年10月20日
22	倉橋 正恵	歌舞伎名作案内 極付幡隨長兵衛	『演劇界』2017年12月号	2017年11月
23	倉橋 正恵	座談会―役者絵研究をめぐって―	『歌舞伎 研究と批評』59号	2017年11月
24	倉橋 正恵	書評「服部仁監修・著『八犬伝錦絵大全』」	『日本文学』67号	2018年3月
25	田中 弘美	BKC オープンキャンパス	立命館大学 BKC	2017年8月5, 6日
26	富田 美香	佐々木史朗プロデューサー インタビュー「僕は、プロデューサーが主導する形の作家主義をやっていると、自分では思っている」聞き手・構成：富田美香、大澤浄、佐々木淳	『NFC ニュースレター』131号	2017年4月 発行
27	富田 美香	「佐々木史朗プロデュース作品一覧」作成：富田美香、大澤浄、佐々木淳作成協力：(株) オフィス・シロウズ	『NFC ニュースレター』131号	2017年4月 発行
28	富田 美香	追悼：林士太郎 デンシティー筋、“男気”の活動屋	『NFC ニュースレター』132号	2017年7月 発行
29	富田 美香	「NFC & MPTE アーカイブセミナー」報告	『映画テレビ技術』780号	2017年8月 発行
30	富田 美香	ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」記念特別イベント「特別上映会 甦る70mm 上映『デルス・ウザーラ』」とその後に向けて／「第12回 オスロ70mm映画祭」報告	『NFC ニュースレター』133号	2017年10月発行
31	富田 美香	石井岳龍監督インタビュー「理想を真つぐ追うのではなく、リアルから理想に近づいていくという戦いです。」	『NFC ニュースレター』134号	2018年1月 発行
32	矢野 明子	コラム「てくてく大英博物館」	『目の眼』株式会社目の眼発行	2017年5, 7, 9, 11月号、2018年1, 3月号
33	矢野 明子	翻訳 (共訳) 『北斎―富士を超えて―』	あべのハルカス美術館、NHK 近畿プラネット 発行	2017年10月
34	矢野 明子	「日本の春画をイギリスはどう見たか」	『第284回 日文研フォーラム 大英博物館「春画展」報告』39-53ページ	2018年2月
35	李 増先	ケンブリッジ大学図書館蔵杜工部集の解説	Cambridge Digital Library	2017年5月
36	李 増先	ケンブリッジ大学図書館蔵古典籍解説の翻訳 (4件)	Cambridge Digital Library	2017年5月
37	加茂 瑞徳	伝統の文様画像で保存	読売新聞	2017年4月6日 夕刊

38	加茂 瑞徳	Designer's Inspiration	株式会社キョーテック HP にて毎月コラムを更新 <a href="http://www.kyolite.co.jp/katagami/">http://www.kyolite.co.jp/katagami/</a>	2017年4月～2018年3月
39	山本 真紗子	「ディスプレイのなかの「空想美術館」—美術・工芸とデジタル・アーカイブ—	立命館大阪梅田キャンパス講座・「シリーズ 美術のたくらみ—イメージの越境と接触—」、2018年3月14日	2015年9月～現在に至る
40	前田 亮	コンピュータによる文字処理の歴史と展望	立命館土曜講座 (第3215回)	2017年9月9日
41	飯塚 隆藤	オープンカレッジ「東海地域での歴史 GIS 教育」	中部経済新聞 8面	2018年2月23日
42	鈴木 桂子	「私のリサーチライフ」	『立命研究者の会～研究者同士をつなげる交流の場～』日 時: 6月23日(金曜日) 12:20～14:30 会 場: びわこ・くさつキャンパス(BKC) コアステーション3階「校友サロン」	2017年6月23日
43	鈴木 桂子	「ガウン、アロハシャツ、海を渡ったキモノ、京友禅。」	Radiant, Issue #7: Kyoto, Pp.2-4.	2017年10月1日刊行
44	脇田 航	知・技の伝承と複合現実型実用研究	Innovation Potluck, イノベーション・ハブ・ひろしま Camps, 広島市	2018年3月
45	脇田 航	簡易没入型歩行感覚呈示装置の開発	中国地域さんさんコンソ発 介護工学新技術説明会～介護需要に応える技術～, JST 東京本部別館 1F ホール, 東京都	2017年11月
46	脇田 航	VR駆使した最新技術 ひろしま IT 総合展	YAHOO!JAPAN ニュース, 広島ニュース TSS, TSS テレビ新広島	2017年10月
47	脇田 航	人工現実感 (VR) 技術と応用研究	愛媛大学・情報工学特別講義 B, 愛媛大学城北キャンパス, 松山市	2017年10月
48	脇田 航	歩行感覚呈示装置および呈示方法	第22回知能メカトロニクスワークショップ, 話題提供セッション 1, Y-15, WS1-1, 山梨大学甲府西キャンパス, 甲府市	2017年8月
49	脇田 航	そ～だったのかパニー	TSS テレビ新広島	2017年6月
50	脇田 航	美女に手を引かれ洞窟探検、建築現場で落下する恐怖を体験 没入感高めるVR技術が登場	SankeiBiz	2017年6月
51	脇田 航	コンテンツ東京2017レポート:美女に手を引かれ洞窟探検、薄暗い森を肝試しなど歩行を取り入れたVRが目立つ	YAHOO!JAPAN ニュース, IGN JAPAN	2017年6月
52	脇田 航	歩行感覚呈示装置および呈示方法	公益財団法人ひろしま産業振興機構、公立大学法人広島市立大学主催マッチングフォーラム～バーチャルリアリティー空間を自由に動き回る簡易で安価な歩行感覚装置の研究～, 広島市立大学, 広島市	2017年6月
53	脇田 航	学生応援チャンネル SHANI-MUに!	RCC テレビ	2017年6月
54	脇田 航	広島市立大、ビーライズと提携 MRコンテンツ研究	日刊工業新聞	2017年6月
55	赤間 亮	浮世絵で読み解く歌舞伎	京都アスニー	2017年11月10日～
56	赤間 亮	「女英雄」展 (含: デジタル展示)	立命館大学アート・リサーチセンター展示室	2017年12月1日～ 2018年1月20日
57	細井 浩一	根付けミュージアム (仮想空間展示)	SecondLife® SIM 「立命館大学アート・リサーチセンター附属仮想博物館 (ARC/VM)」	2017年4月1日～

58	細井 浩一	「ブレイク・J・ハリス著セガ vs.任天堂 (早川書房) ~ 文化のずれ巡る不安と悩み」	日本経済新聞「書評」欄	2017年5月13日
59	細井 浩一	服飾の昭和史 (仮想空間展示)	SecondLife® SIM「立命館大学アート・リサーチセンター付属仮想博物館 (ARC/VM)」	2017年10月1日～
60	細井 浩一	「テトリス・エフェクト (白楊社) ~ゲーム”の面白さ”めぐる騒動」	日本経済新聞「書評:この一冊」欄	2017年12月16日
61	矢野 健一	芸術と考古学~time,timer,timest 夏休みの遺跡~プレ展	ヴォイスギャラリー (京都府京都市)	2017年6月16日～ 2017年6月24日
62	矢野 健一	米原・杉沢遺跡 立命館大生が発掘調査	2017年8月24日中日新聞びわこ版	2017年8月24日
63	矢野 健一	遺跡&現代美術のコラボ 米原市杉沢で「地上と地中」の展覧会	2017年8月25日滋賀夕刊	2017年8月25日
64	矢野 健一	芸術と考古学の融合した展示「time,timer,timest~夏休みの遺跡」を企画・開催	滋賀県米原市杉沢 (杉沢区集会所、玉泉寺)	2017年8月25日～ 2017年8月31日
65	矢野 健一	縄文遺跡 アートに	2017年8月29日京都新聞滋賀版	2017年8月29日
66	矢野 健一	アートで遺跡発掘再現 米原・杉沢遺跡	2017年8月31日読売新聞滋賀版	2017年8月31日

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	田中 覚	可視化情報学会	可視化情報学会学術賞(技術賞)	論理演算に基づく日本伝統家屋のレーザ計測点群データのセグメンテーションと半透明可視化への応用	2017年7月
2	田中 覚	横幹連合	第8回横幹連合コンファレンス・ベストポスター賞	陰関数曲面補間を利用した高曲率領域抽出による3次元点群の凹凸強調可視化	2017年12月
3	Lawrence E. Marceau	外務省	外務大臣表彰	ニュージーランドにおける日本研究促進への貢献	2017年7月7日
4	脇田 航	広島市立大学	教員表彰(研究部門, 社会貢献部門)		2018年3月
5	脇田 航	電気学会 C 部門知覚情報技術委員会	技術委員会奨励賞	高度没入型簡易無限歩行システムのための下半身の姿勢推定	2018年2月
6	西浦 敬信	Culture and Computing 2017	Best Poster Award	Sound Reproduction by Concatenative Synthesis for Japanese Traditional Music Box	2017年9月

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	田中 覚	3次元計測で得られる大規模ポイントクラウドの, 透視可視化に基づく立体構造理解	基盤研究(B)	2016年4月	2019年3月	代表
2	福田 一史	日本文化資源としてのゲームデータベースの継続的構築に関する基礎的研究	基盤研究(C)	2017年4月	2020年3月	分担
3	金子 貴昭	東アジア比較板木研究体制の構築	基盤研究(C)	2016年4月	2019年3月	代表
4	斎藤 進也	立方体型情報ビューアによる視覚的データ管理手法の構築	科学研究費補助金 [基盤研究 C]	2015年4月	2018年3月	代表

5	西林 孝浩	河北省ギョウ城遺跡出土事例の分析を中核とした東魏・北齊仏教美術の総合的研究	基盤研究(C)	2017年4月	2020年3月	代表
6	石上 阿希	「18世紀上方・江戸における出版と都市文化の関連性-西川祐信を中心として-」	若手研究 (B)	2014年4月	2018年3月	代表
7	倉橋 正恵	江戸歌舞伎における年代記史料の基礎的研究	基盤研究(C)	2016年4月	2018年3月	分担
8	倉橋 正恵	歌舞伎興行と近世出版活動における運動性についての発展的研究	基盤研究(C)	2017年4月	2021年3月	代表
9	富田 美香	70ミリ映画のアーカイブにむけた基盤形成	基盤研究(C)	2016年4月	2019年3月	代表
10	李 増先	極東における和刻本漢籍流通の実態解明に関する研究	若手研究 (B)	2017年4月	2020年3月	代表
11	Biligsaikhan Batjargal	多言語デジタルアーカイブにおける言語横断レコード同定手法の研究	基盤研究(C)	2016年4月	2020年3月	分担
12	Biligsaikhan Batjargal	Research on Knowledge Extraction from Ancient Mongolian Historical Documents using Deep Learning	基盤研究(C)	2017年4月	2021年3月	代表
13	加茂 瑞穂	近世後期から明治期京都における染織意匠の展開に関する研究	特別研究員奨励費	2017年4月	2020年3月	代表
14	前田 亮	多言語デジタルアーカイブにおける言語横断レコード同定手法の研究	基盤研究(C)	2016年4月	2020年3月	代表
15	大西 秀紀	ニッソー、ナショナル、日蓄オリエント各社のディスコグラフィ作成	基盤研究(C)	2017年4月	2020年3月	代表
16	島川 博光	農家と消費者を志向で結びつけるサイバー・フィジカル・システム	基盤研究(C)	2015年4月	2018年3月	代表
17	八村 広三郎	文化芸術活動における身体動作と集団行動のデジタルアーカイブと解析・表現技法の開発	基盤研究(B)	2017年4月	2018年3月	代表
18	飯塚 隆藤	近代水陸交通の地域的变化に関する歴史GIS研究	研究活動スタート支援	2016年9月	2018年3月	代表
19	飯塚 隆藤	環太平洋における在外日本人の移動と生業	基盤研究(A)	2013年4月	2018年3月	分担
20	木立 雅朗	近代京都の美術・工芸に関する総合的研究-制作・流通・鑑賞の視点から-	基盤研究 (B)	2015年4月	2019年3月	分担
21	木立 雅朗	日本と韓半島の米調理方法の変化要因の解明：米品種の多様性の視点から	基盤研究 (B)	2015年4月	2018年3月	分担
22	矢野 桂司	人口減少期の都市地域における空き家問題の解決に向けた地理学的地域貢献研究 (分担)	基盤研究(B)	2015年4月	2019年3月	分担
23	矢野 桂司	歴史GISによるデジタル・ヒューマニティーズの展開	基盤研究(A)	2016年4月	2020年3月	代表
24	矢野 桂司	「地域の知」の共有と利活用を支援する地域研究情報基盤の構築 (分担)	基盤研究(A)	2016年4月	2020年3月	分担
25	矢野 桂司	時空間情報の次世代分析ツールボックスの開発と応用 (分担)	基盤研究(A)	2016年4月	2021年3月	分担

26	矢野 桂司	人と社会の側からみた地図・地理空間情報の新技術とその評価	基盤研究(A)	2017年4月	2021年3月	分担
27	矢野 桂司	日本古地図ポータルサイトによるデジタル・ヒューマニティーズの推進	挑戦的研究(開拓)	2017年6月	2021年3月	代表
28	鈴木 桂子	18~20世紀の糸・布・衣の廉価化をめぐる世界史	基盤研究(B)	2015年4月	2019年3月	分担
29	脇田 航	身体知解析に基づく複合現実型技能伝承システムの構築	若手研究(A)	2016年4月	2019年3月	代表
30	西浦 敬信	フレキシブルパラメトリックスピーカを用いた3D音像ホログラムの総合開発	基盤研究(B)	2014年4月	2018年3月	代表
31	赤間 亮	第三期役者評判記の有用性に関する総合的研究	基盤研究(C)	2017年4月	2020年3月	分担
32	赤間 亮	日本歴史的典籍の SNS 型電子テキストアーカイブ・プラットフォーム構築研究	挑戦的研究(萌芽)	2017年6月	2020年3月	代表
33	細井 浩一	日本文化資源としてのゲームデータベースの継続的構築に関する基礎的研究	基盤研究(C)	2017年4月	2020年3月	代表

8. 競争的資金等(科研費を除く)						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	福田 一史	新産業生成としてのビデオゲームビジネスのオーラル・ヒストリー	中山隼雄財団科学技術文化財団 平成29年度助成研究	2017年2月	2019年2月	分担
2	福田 一史	Japan's videogames between the local and the global	ドイツ学術交流会(DAAD): Partnerships with Japan and Korea (PaJaKo)	2017年3月	2019年2月	分担
3	福田 一史	平成29年度 ゲームアーカイブ所蔵館連携に関わる調査事業	平成29年度文化庁メディア芸術連携促進事業	2017年8月	2018年2月	分担
4	福田 一史	ゲーム書誌レコードの作成と利活用のための調査事業	平成29年度文化庁メディア芸術アーカイブ推進事業	2017年6月	2018年3月	分担
5	金子 貴昭	東アジアの木版文化比較研究とデジタルアーカイブの応用	一般財団法人 橋本循記念会研究交流活動助成	2017年6月	2018年3月	代表
6	加茂 瑞穂	京都を起点とした染色技術及びデザインのグローバルな展開に関する研究	日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点	2017年4月	2018年3月	代表
7	細井 尚子	「ポスト・グローバリゼーション時代の大衆演劇ー日本・台湾の「小芝居」文脈の芸術からー」	立教大学学術推進特別重点資金(立教SFR)個人研究	2017年5月	2018年3月	代表
8	前田 亮	日本文化資源のグローバルアクション	私立大学戦略的研究基盤形成支援事業	2015年4月	2020年3月	分担
9	鈴木 桂子	グローバルな連環の中の「きもの」文化ーアロハシャツ、スカジャンを中心に	立命館大学研究高度化推進制度・研究推進プログラム 科研費獲得推進型	2017年4月	2018年3月	代表
10	鈴木 桂子	染色デザインの世界的連環の研究ーパティック、アフリカン・プリント、伊勢型紙を中心に	立命館大学研究高度化推進制度・研究成果国際発信プログラム	2017年4月	2018年3月	代表
11	鈴木 桂子	実測ビッグデータを活用した、アジア歴史文化遺産のデジタルミュージアム研究開発	立命館大学研究高度化推進制度・アジア・日本研究推進プログラム	2017年4月	2020年3月	分担

12	鈴木 桂子	京都を起点とした染色技術及びデザインのグローバルな展開に関する研究	立命館大学アート・リサーチセンター 文部科学省 共同利用・共同研究 拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」研究課題	2017年4月	2018年3月	分担
13	脇田 航	簡易的かつ高没入な無限歩行システムおよびVRコンテンツの開発	広島市立大学情報科学研究科共同研究プロジェクト	2017年6月	2019年3月	代表

9. 知的財産権

No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
1	脇田 航	歩行感覚呈示装置及び呈示方法	広島市立大学	脇田 航	PCT/JP2018/007279			PCT 出願
2	脇田 航	モーションベース	広島市立大学	脇田 航	特願 2017-153949			日本
3	脇田 航	歩行感覚呈示装置及び呈示方法	広島市立大学	脇田 航	特願 2017-038857			日本